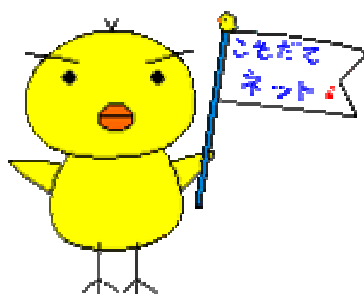


わが町にしなり子育てネット

総会議案書



日 時 2007年6月7日(木)午後1時30分

場 所 元西成青少年会館施設

議 案

1. 2006年度事業報告
2. 2006年度会計決算
3. 役員改選
4. 2007年度事業計画
5. 2007年度予算(案)
6. 会則
7. その他

わが町にしなり子育てネットの 2006 年度を振り返って	3
. 2006 年度年間活動記録	5
1. 子育てネットの運営	5
総会	5
全体会	5
役員会	5
事務局会議	6
子育て支援関係機関会議	6
あい・eye・ネット	7
・ブログ設定に至るまで	7
・こどもの心のことばを聴く～いじめって何?～	8
2. 各部会報告	8
講習講座部会	8
広報部会	9
・ハギッズ	9
・ホームページ編集委員会	10
子育てサークル部会	11
・プール交流会	11
・サロン 0・1・2	11
・西成子育て支援施設連絡会議	12
・西成大好きふれあい運動会	12
児童虐待防止部会	14
『MY TREEペアレンツ・プログラム』の 2006 年度実践	14
2006 年度 MY TREE ペアレンツ・プログラム (大阪市) 事業報告書	15
特別部会	25
・第 3 回こども元気まつり	25
・第 5 回フリーマーケット	26
・第 8 回子育ての集い	31
その他	35
・第 1 回西成大好きドッジボール大会	35
・はぎマンサイ	36
・びわこキャンプ	39
. 2006 年度会計報告	42
収入の部	42
支出の部	43
会計監査報告	44
. 2007 年度活動方針(案)	45
1. 各部門活動計画	45
講習講座部会	45

広報部会	46
・ハギッズ.....	46
・ホームページ編集委員会.....	46
子育てサークル部会	48
児童虐待防止部会	48
2007年度実践予定.....	48
特別部会	48
・第4回子ども元気まつり.....	48
・第6回フリーマーケット.....	49
・第9回子育ての集い.....	49
・2007年度会計予算案	50
収入の部.....	50
支出の部.....	51
・わが町にしなり子育てネット会則	52
・組織	54
組織の改編について(案).....	54
登録団体一覧.....	55
加盟団体一覧.....	57

(附録)2006年度活動記録

わが町にしなり子育てネットの2006年度を振り返って

．2000年5月「わが町にしなり子育てネット」が西成の町に誕生してから6年後の2006年6月末「児童館をこわさないで」「私たちの遊び場をなくさないください」という子どもたちの声も空しく、大阪市内から10の児童館が無くなりました。私たちの町、西成では「子育てネット」が生まれてからずっとその中心として事務局を努めてくれていたのが児童館でした。それから1年後の2007年3月、今度は西成青少年会館が廃止になりました。親たちの集いや、ネットの各種会合の場として、そしてフリーマーケットなどの催しなど、なくてはならないネットの活動の最大の拠点でした。このように2006年度は子どもの施設の閉鎖に始まり、閉鎖で終わりました。子育て支援が我が国の最重要課題であるはずなのに。

．そのような状況の中でも、6月にはこども元気まつりを、7月にプール交流会を、10月に大好き運動会とフリーマーケットを、そして3月に子育ての集いをそれぞれ開催しました。どれもたくさんの親子や住民の方々が集まりました。高齢者も赤ちゃんも、障がいを持つ子も持たない子も、それらの場が人と人の出会いの場にそして、つながりの場になりました。前年度の反省であった、多くの課題や困難を抱えた子どもたちへの参加呼びかけはまだまだ不十分ですが意識して取り組みました。

．8月から12月の毎火曜日、虐待をしてしまった親の回復支援プログラム「MY TREE ペアレンツ・プログラム」が西成青少年会館を中心に実施されました。過去3年間、ネットが先駆的に取り組んできた結果、4年目は大阪市の主催で実施することができました。公の責任で対象者の発掘とそのケアが行われることにより、虐待の防止と親子の再統合が一層進むことになったのです。私たちのこの取り組みは各方面から大きな評価を受け、それらの活動を紹介するセミナー「児童虐待のない社会をめざして」が札幌、東京、大阪で開催され（7月）朝日新聞や国の外郭団体である福祉医療機構の機関誌等で全国に発信されました。また、男女共同参画社会の実現に向けて活躍した個人やグループに贈られる「女性基金プリムラ賞」を大阪府知事より受賞しました。

．11月、区内に5つある子育て支援施設（3つの支援センターと2つのつどいの広場）と7月に発足した区の子育て支援室が集まり、区子育て支援施設連絡会が誕生しました。また、支援施設と区の地域担当（保健師）との連携（3カ月、1歳半検診時）も始まり、在宅で子育てをする親たちへの支援を行政と地域の施設が一体となって関わっていくことがまた一歩前進しました。

・11月、児童福祉法の改正を受けて西成区も児童虐待防止ネットワーク「要保護児童対策地域協議会」が発足しました。今まで、6中学校区で毎月開催されてきたネットの最大の子育て支援連携組織である「区虐待防止・子育て支援ケア会議」がより充実することにより、児童虐待の早期発見と地域の関係機関等による適切な対応と役割分担が一層促進されることになりました。ただ、これらの連携や組織化は時間とともに形骸化されがちです。虐待防止の基本である子どもの権利擁護と自己実現を常に意識しながら魂の入ったネットワークを進めていくことが大切です。

・1月、西成区地域福祉アクションプラン・区民フォーラムが開かれ、「子ども、ワクワク！まちも、イキイキ！」と題して地域の活動発表会がおこなわれました。また7月に発行された区の広報紙「にしなり我が町」ではネットも編集協力し「楽しい時も困った時も“みんなで子育て”気軽に相談してね！」と題した特集が組まれました。この取り組みは07年度も継続して行われます。

・06年度もネットの加盟メンバーにより、様々な取り組みが行われましたがなんといってもネットの、また子育ての主役は親たちです。ネットの活動の担い手として、親から親への子育て情報の発信者として機関紙「ハギッズ」やホームページ等を担当している親たちは地域で子育てをする親たちとネットのつなぎ役です。様々な行事等への参加者たちの参加の動機の多くはこれらの情報手段によってであったり、親たちから親たちへのクチコミの結果です。そして、もう一人の主役は当然、子どもたちです。子育ては子育てのためのものです。子育てが町全体で取り組まれ、子育てを町全体で応援する、そんなまちづくりが少しずつ広がっているのが実感される1年でした。

(わが町にしなり子育てネット 代表 小掠 昭)

. 2006 年度年間活動記録

1. 子育てネットの運営

子育てネット加盟団体が連携して事業を運営するために、全体会・役員会・子育て支援関係機関会議などを開催しました。

総会

- 【日 時】2006年6月1日(木) 午後1時30分から
 【内 容】2005年度の事業報告と2006年度の事業計画

全体会

- 【日 時】2007年1月11日(木) 午後1時30分から
 【内 容】1. 第8回子育ての集いの開催について
 2. 子育て支援における社会福祉協議会との連携について

役員会

- 【構成メンバー】代表・副代表・事務局長・事務局員・会計・監事・幹事(部会長)
 【開催日】偶数月の第2木曜日 午後1時30分より ほぼ定例で開催

日 時	内 容
8月10日(木) 午後1時30分～	事務局体制について MY TREE ペアレンツプログラムについて 親子で楽しく遊ぼう会について フリーマーケットについて はぎマンサイについて プール交流の報告 元気まつりの報告 福祉医療機構セミナーについて 児童館・トモノス問題について
10月12日(木) 午前10時～	上半期の活動について 下半期の計画について 第5回フリーマーケットについて
12月14日(木) 午後1時30分～	第5回フリーマーケットの報告 第8回子育ての集いの開催について 大阪府女性基金「プリムラ賞」受賞報告 あい・eye・ネットについて

12月14日(木) 午後1時30分～	子育て支援施設連絡会について 児童館の会の「もちつき大会」について
2月8日(木) 午後1時～	第8回子育ての集いの開催について 各部会報告 西成青少年会館施設の利用について アクションプラン区民フォーラムの報告 「あい・eye・ネット」ブログ開設について
4月12日(木) 午後1時30分～	2006年度活動報告 2007年度活動方針 2007年度の主な行事計画 2007年度総会について

事務局会議

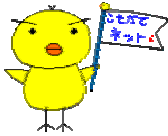
必要に応じて随時開催し、年間の事業の進め方等を確認しました。

【構成メンバー】ヒューマンライツ教育財団(寺本)・西成児童館の会(出水)・
西成青少年会館(村田・保原)・NPO法人子育て運動えん(関口)

子育て支援関係機関会議

【構成メンバー】子育てネットに加盟する施設・役所・団体・個人の子育て支援関係者

【開催日】奇数月の第2木曜日 午後1時30分よりほぼ定例で開催

日 時	内 容
7月13日(木) 午後1時30分～	事務局体制について 西成区子育て支援室について 児童館、トモノスの新しい事業内容について 7月までの活動報告と今後の計画
9月14日(木) 午後1時30分～ 	各部会活動計画 第5回フリーマーケットについて にしなり大好き運動会について 親子で楽しくあそぼう会について おやつ作り・・・保健センター 絵本読み聞かせの講座・・・西成図書館 はぎマンサイ2号の問題について 事務局体制の変更と活動別分担について 青少年会館問題について

11月9日(木) 午後1時30分～	各部会活動報告 第5回フリーマーケット にしなり大好き運動会 親子で楽しくあそぼう会 おやつ作り 絵本読み聞かせの講座
1月11日(木) 午後1時30分～	第8回子育ての集いの開催について 各関係機関の報告など
3月8日(木) 午後1時30分～	第8回子育ての集いの報告と反省 第4回子ども元気まつりについて 総会の各担当について ネットルーム事務局の物品搬出について

あい・eye・ネット

・ブログ設定に至るまで

子育て交流会は、わが町にしなり子育てネット定例の全体会(または幹事会)に代わって、ボランティアや子育て中の母親・広く一般の子育てに関心をお持ちの方々の交流・意見交換の場を目的とし、2002年度11月 第1回「親子で一緒にしていること」をテーマにトモノス西成でスタートしました。

ネットの毎月の全体会(または幹事会)では出席できるお母さんたちも少なく、どうしても施設や役所の連絡会的な集まりになってしまうので、これを補うものとしてお母さんたちの「ミニ会議」を開こうとなったのです。

その後、交流会や講習会などの企画を実施するなど、子育て交流や子育てネットの新たな活動をひろげていく場として続けられました。

<ミニ会議>という名前で親しまれてきましたが、2004年度5月には、より多くの方に親しみを持って参加していただくことを目的としてニックネームを公募しました。

<あい・eye・ネット>という名称にリニューアルし、毎月主に第3木曜日：西成児童館において定期的開催されました。

あい・・・子どもを愛するの「あい」

e y e・・・問題を見つける目と目

ネット・・・人と人のつながり

2005年度は、すみれが運営を担当し、2006年2月第31回「児童館・トモノス廃止について市会議員を招いての話し合い」を最後に、集まる場を持つことが困難となり、2006年度担当のさくら組が、「さくらの井戸端会議」としてその役割を果たしてきました。

2006年度の子育てネットの組織改編では、これまでの幹事会を、子育て支援関係機関会議(奇数月第2木曜13:30～)とあい・eye・ネット(偶数月第3木曜10:30～)にわけ、幹事会の役割を担うこととなりました。

あい・eye・ネットにかかわるグループ・サークルメンバーは子育て中のお母さんが中心で、なかなか集まらない状況があり、子育てネットに十分な意見反映ができていません。次年度は、たんぼぼが「あい・eye・ネット」の運営担当となるので、新たな手法としてブログ活用を提案させていただきます。

(たんぼぼ<ホームページ編集部>)

・こどもの心のことばを聴く～いじめって何？～

3月16日(金)西成区子ども・子育てプラザにおいて「こどもの心のことばを聴く」いじめってなに？が開催されました。

当日の参加者は22名(施設職員10名、保護者12名)会場は子どもが遊び廻る中、ひざをまじえながら、なごやかな雰囲気の中で話が進められました。子どものことばに耳を傾けることの大切さを実感しました。

ゲスト・阪井 茂さん(西成青少年会館ほっとスペース相談員)

・井田 艶子さん(弘道会、浪速生野病院 女性科 助産師 思春期保健相談士)

(さくら組<ハギッズ編集グループ> 鈴木・中村・相原)

2. 各部会報告

講習講座部会

2006年度、子育て講座「親子で楽しくあそぼう会」を4回実施しました。運営、講師は公立保育所・私立保育園・公立幼稚園・保健センター・図書館それぞれが担当しました。一時保育はボランティアグループの方が担当してくれました。

【第1回】「親子で楽しいふれあい遊び」(担当：公立保育所)

日 時 6/9(金)午前10時～11時

場 所 子ども・子育てプラザ2F

参加者数 21組(大人21名 子ども23名) 保育スタッフ18名

感 想 ・子どもがいっぱいいて楽しそうでした。

・名前も聞いてもらえて本人もうれしそうでした。

【第2回】「簡単な手作りおもちゃ」(担当：公立幼稚園・私立保育園)

日 時 7/12(水)午前10時～11時

場 所 子ども・子育てプラザ2F

参加者数 16組(大人16名 子ども18名) 保育スタッフ14名

感 想 ・親子でなかなか手作りのおもちゃ作りはできないので新鮮で良かった。

・親子共にストレスが発散できたて良かった。

【第3回】 「子どもが喜ぶ手作りおやつ」（担当：保健センター）

日 時 10 / 13 (金) 午前 10 時 ~ 11 時 30 分

場 所 保健福祉センター

参加者数 23 組 (大人 23 名 子ども 25 名) スタッフ 22 名

感 想 ・ からだに良さそうなおやつでおいしかった。
・ 皆でわいわい話をしたり、一緒に作るのが、とてもたのしかったです。

【第4回】 「子育てに絵本を！読み聞かせのすすめ」（担当：図書館・図書ボランティア）

日 時 10 / 20 (金) 午前 10 時 ~ 11 時 30 分

場 所 青少年会館

参加者数 1 組 (大人 1 名 子ども 1 名)

感 想 ・ 新しい絵本を知ることができ、一緒に楽しめた。
・ 子どもが大きくなったら反応も違おうだろうからまた参加したい。

広報部会

・ハギッズ

ボランティアグループさくら組を中心に「いつでも、どこでも、みんなで子育て」という子育てネットの趣旨に基づきながら、一方的な情報提供にならないようにインターネットやブログなどとのリンクも考慮しつつ、紙面づくりを行ってきました。そして、本年度も隔月で年6回、ミニコミ紙「ハギッズ」を発行しました。

編集委員会では「どうしたら、一層多くの人に読んでもらえるか?」「読んでもらえるだけでなく、どんな形でも良いので一緒に参加してもらえるのか?」「みんなが抱えている思いを具体的な形にし、みんなで共有できるのか?」などを考えつつ、取り組んできました。

【ハギッズの発行】

部数； 27,000部(4,500部/回)

発行回数：5、7、9、11、1、3月(計6回)

体裁：A4サイズ(A3二つ折)4ページ

発行過程：原稿募集 ミニ編集会議 記事作成 編集会議 版下作成 校正 印刷 発送
発行

発行状況：4 / 14 第34回 編集委員会

5 / 1 ハギッズ第33号発行

6 / 9 第35回 編集委員会

7 / 1 ハギッズ第34号発行

8 / 4 第36回 編集委員会

9 / 1 ハギッズ第35号発行

10 / 13 第37回 編集委員会

11 / 1 ハギッズ第36号発行

12 / 13 第 38 回 編集委員会
1 / 1 ハギッズ第 37 号発行
2 / 8 第 39 回 編集委員会
3 / 1 ハギッズ第 38 号発行

【ハギッズ編集にあたって】

わが町にしなり子育てネットミニコミ紙ハギッズは 2001 年 1 月号から 2 ヶ月に 1 度、奇数月に発行し、この 5 月で第 39 号を発行するにいたりしました。
子育て中の方にいろいろな情報が伝わるようにと考えて作ってきました。

定番になってきた「さくらの井戸端会議」は子育ての悩みなどを中心に話し合った内容をまとめてきました。

年度末の 3 月号では「いじめ」と言うとても慎重に対話しなければならない内容になり、それが基になる話し合いも開かれました。

(さくら組<ハギッズ編集グループ> 鈴木・中村・相原・中島)

・ホームページ編集委員会

1. 事業の目標

ホームページを通して子育て情報や身近な情報を公開することにより、子育て中のあまり外に出て行けないお母さんたちに、必要な情報をいつでも届けることができます。子育てに悩んだり、迷ったり、笑ったり、いろいろな方とつながりを持ち、親子ともに成長し、楽しい子育てができるよう願いながらホームページを運営していきます。

2. 実施日程・内容・参加者・その他

《編集委員会・講習会の開催》

4/14 (松通支援センター)

5/12・6/2・7/7・9/11・10/5・11/2・12/5・1/11・2/7・3/2 (子育てプラザ)

参加者：出水・湯川・三木・志野 (2 月から加入)

《ブログ講習会》

11/9・11/16 (青少年会館パソコンルーム)

《ホームページの活動内容について》

- ・西成区ブログ通り一丁目を作成、アップし入居案内
- ・ブログ講習会を開催し、卒業生に入居してもらいました。
- ・あい・eye・ネットブログに関する説明会と講習会、書き込み
- ・わいわいニュースコーナー設置

- ・子ども・子育てプラザだよりコーナー設置
- ・さくらの井戸端会議コーナー設置
- ・育児サークルの記事更新
- ・子育ての集いに参加、ホームページPRと公開、説明
- ・ぴよマーク冬・春バージョン募集チラシ作成と設置
- ・ぴよマーク応募者に参加賞配布
- ・月1回編集会議参加、講習会
- ・サイトの運営と管理（ほぼ毎日）
- ・ハギッズ、ホームページ版作成、公開
- ・イベント情報、注目、掲示板でのイベントの告知
- ・園庭開放情報を更新

(たんぼぼ<ホームページ編集部>)

子育てサークル部会

・プール交流会

実施日時	7月27日(木)午前10:30~11:30
場所	西成青少年会館付設プール
対象	就学前の乳幼児
趣旨	西成青少年会館プールを使用し、わが町にしなり子育てネットに参加している、子育てサークルの親睦と交流を深め、区内の子育てサークルのネットワークづくりに取り組む

子育て支援関連施設とサークルのリーダーさんとともに、実行委員会を持ちながら進めました。当日は晴天に恵まれ、親子合わせて77人、スタッフ10人が参加しました。途中でサークル紹介をしてもらいながら、水あそび、水中追いかけ玉入れを楽しみました。

・サロン0・1・2

実施日時	毎月第3火曜日午前10:45~11:30
場所	玉出西公園
参加者数	保護者のべ220人　　子どものべ243人

玉出西公園の取り組みは3年めに入り、毎月1回にもかかわらず、毎回楽しみに来られる常連参加者の口コミで参加者が昨年度より増えてきています。終了後の親同士の交流、育児相談など定着してきています。

・西成子育て支援施設連絡会議

11月より西成区子ども・子育てプラザ、つどいの広場わいわい、聖化保育園子育て支援センター、松通子育て支援センター、西成子育て支援センターの5施設の連絡会議を子育て支援室のコーディネーターにも参加してもらい、2か月に1回開催し情報交流を行なっている。保健福祉センターの3か月健診、1歳半健診に西成子育て支援施設連絡会議として、西成の在宅家庭が集える場所の情報提供を行なっている。健診で知ったと各施設への参加者が徐々にではあるが増えつつある。

・西成大好きふれあい運動会

開催日・・・10月19日(木) 10:00～12:00

場所・・・梅南多目的グラウンド

趣旨・・・わが町にしなり子育てネットに参加している子育てサークルの親睦と交流を深めると共に、高齢者とのふれあいを楽しむ。

実行委員会・・・反省会も含め3回

実行委員メンバー

ちびっこクラブ いちごクラブ 西成区子ども・子育てプラザ
つどいの広場わいわい 聖化保育園子育て支援センター 梅南子育てサロンスタッフ
ボランティア・ビューロー 今池子どもの家
西成子育て支援センター 松通子育て支援センター

参加呼びかけ

<親子>

ちびっこクラブ いちごクラブ 今池子どもの家わんぱくクラブ
西成子ども子育てプラザつどいの広場 梅南子育てサロン 橘子育てサロン
つどいの広場わいわい 聖化保育園子育て支援センター ころころクラブ
西成子育て支援センター 松通子育て支援センター

<高齢者>

梅南親友クラブ 橘明星倶楽部 梅南、橘地区在宅サービスステーション
グループホームのどか グループホーム松通 レジデント梅南

参加人数

親・・・・・・・・・・106名

子ども・・・・・・・・・・118名
スタッフ・・・・・・・・・・22名

高齢者・・・・・・・・・・40名
高齢者付スタッフ・・・16名

内容

開会式、オープニング（松通保育所5歳児）、ゲーム（5つ）、エンディング、閉会式

反省及び来年度に向けて

- ・来年度は月、火、水を避けた10月中頃、学校、地域行事を考慮して実施する。
- ・サークル外の人でも多数参加するので、趣旨の文章に「子育て支援施設利用者の親睦交流」を入れる。
- ・本部に影が多かったなので、本部の位置を変えなるべく影を高齢者、親子にもっていく。
- ・施設から参加の高齢者に無理なくゲームに参加してもらう為、ゲーム内容が決まったら施設代表者と打ち合わせをする。
- ・高齢者との交流は意識しているが、サークル、支援施設利用者の交流を意識したプログラムも必要（一緒に運動会をする事が交流ではあるが）



児童虐待防止部会

『MY TREEペアレンツ・プログラム』の2006年度実践

2006年度も、例年のように「西成青少年会館」を舞台に、「西成子育て支援センター」での保育に支えられて『MY TREEペアレンツ・プログラム』を行い、大きな成果をあげました。

例年と異なっていたのは、第一に、事業の骨組みです。4年目にして、大阪市中央児童相談所主催で事業委託を受け（委託元は『MY TREEペアレンツ・プログラム』開発者の森田ゆり主宰である「エンパワメント・センター」）わが町にしなり子育てネットの地域多職種連携のもと運営したことです。さらに、転居を繰り返すケースの中には重篤な事例も多く存在するため、われわれが主張してきた行政間の協力、相互乗り入れが実現し、大阪市と大阪府の協力体制が一步すすんだことです。

第二に、プログラムの進行を担うファシリテーターが所属する芦原病院が、大阪市の体制によって民間法人に移譲され、採算性が第一義となったことから、虐待防止のような公的な事業の継続が心配される中での展開でした。

『MY TREEペアレンツ・プログラム』の取り組みが、もしも芦原病院単独のリードであったなら、継続は困難であったことでしょう。しかし、われわれは当初からファシリテーターだけでなく、「わが町にしなり子育てネット」の多職種連携を最大限に生かして運営してきた実績をもっていたために、さまざまな機関からの支援もいただきながら、2006年度の危機を打開することができたのです。このことこそが、最大の成果であったとも言える2006年度の『MY TREEペアレンツ・プログラム』でした。

参加メンバーは児童相談所からのケースで占められ、まさにこのプログラムの本領発揮といった結果も得ています。詳細は、「大阪市事業実績報告」をぜひお読みください。

（文責：NPOえん理事 伊藤悠子）



2006 年度 MY TREEペアレンツ・プログラム（大阪市）事業報告書

Anneal report for the year 2006

委託協力 森田ゆり（エンパワメント・センター）

運営実施 わが町にしなり子育てネット

ファシリテーター 伊藤悠子 松浦洋栄 井田艶子

2006 年度事業のまとめ Summary of activities in the year 2006

1、事業の背景

- ・児童虐待発生件数の多さと急増
- ・致命的ケースの存在と法整備の遅れ
- ・影響の深刻さ
- ・官民協働・地域ネットワークの必要性

近年、児童虐待相談件数は著しく増えており、死亡事例についても国全体でみると、「週に一人の割合で虐待により子どもが死んでいる（「児童虐待の防止等に関する法律」制定以降平成 12 年 11 月 20 日～平成 16 年 12 月 31 日に発生した 202 件の分析結果より）」に見られるように、子どもの虐待防止は、現在国をあげての緊急課題となっている。

虐待対応では、子どもの安全を最優先に対応がなされるが、とりわけ親子の生命の危険がせまるような虐待ケースにおいては、虐待をする側の抱える課題が改善されない限り、再虐待を呼んだり、他の子どもや次世代への影響をふくめて、長期的に深刻な結果をもたらすことが知られている。

しかし「児童相談は児童相談所が対応する」と定めた児童福祉法制定当初には想定されていなかった、立ち入り調査など緊急性のある事例への対応が急増している現状は、虐待する親に対して、その事実を調査し評価する法的権限を唯一与えられている児童相談所が、子どもの保護やケアだけでなく、同時に親の悩みを受け止めて親を支援していく役割を持つことは、物理的にも非常に困難となっており、このことがまさに全国の児童相談所の切実な課題となっている。日本の子ども虐待防止の最大の弱点は、親支援の不在にあるといっても過言ではない。

大阪市においては、いち早くこの問題への対応に着手し、親を対象とした個別プログラムを、親と対峙する場面を持たない民間専門機関に委託し、地域の虐待防止ネットワークと児童相談所が連携支援することにより、効果を最大限に上げるべく当事業が実現した。厚生労働省虐待防止対策室は、この大阪市方式の取り組みは国の指針とも合致するものとの認識をされ、2001 年に開発された「MY TREE ペアレンツ・プログラム」の効果とあいまって、全国の児童相談所からも大変注目される中でスタートを切った。全員の参加者に意識と行動の変容が見られ、大きな成果を得たので、ここに報告する。

2、事業の概要

- 【事業名】 子どもや自分を傷つけている、虐待をやめたい親のための回復支援プログラム
「MYTREEペアレンツ・プログラム」
- 【事業の目的】 子育てに困難を抱え、子どもを虐待している親が、プログラムへの参加を通して誤った子育ての習慣を脱学習し、セルフケアと問題解決力を身につけることで、虐待・体罰による子どもへの関わりを意識的に終止することができる。
- 【実施場所】 プログラム：大阪市西成区青少年会館（和室）
保育：大阪市立西成子育て支援センター
- 【対象者】 児童相談所の相談ケースを基本とし、事前面接で決定する。
- 【開催日時および各回の内容・参加者数 / 保育児童数】
- 《事前面談》 2006年6月～9月まで、電話協議を省き、のべ20回実施
(複数回面談者あり)
- 【実施回数】 毎週火曜日、連続して14回の会合の後3ヵ月後の同窓会
(リユニオン)をもって解散。
- 事前面接、中間個別面談、修了後(必要に応じて)面談。およびプログラム開催中については、随時の緊急電話対応、電話相談体制あり。ただしプログラムの一環としての電話受けであることを明確にし、個人カウンセリングは行わない。
- 【報告・連絡体制】 個人情報の管理、守秘には万全の配慮を行い、実務者間の連絡は随時取り合う。プログラム進行中に緊急性のある事態が発生した場合は、すみやかに児童相談所担当係長(または担当ケースワーカー)に情報を伝え相談する。
- 【参加者の安全管理】 匿名クローズなグループを作り、厳密な守秘をはじめとする約束事を毎回確認していく。参加者間の連絡は取り合わず、グループの解散までは個人づきあいもしない。
- (基本的に解散後も個人の交友関係はすすめない。)

【実施状況】

回	月/日	時間	内容(テーマ)	参加者 (名)	保育 (名)
1	8/29(火)	13:30 } 16:00迄	グループ準備会 (このミーティングの目的 ・ルール・身体ほぐし)	6	4
2	9/5 (火)	同上	安心な出会いの場	8	4
3	9/12(火)	同上	安心な出会いの場	7	1
4	9/19(火)	同上	わたしのエンパワメント	6	1
5	9/26(火)	同上	親と子のエンパワメント	6	1
6	10/3(火)	同上	気持ちを聴く	7	1
7	10/10(火)	同上	気持ちを語る	6	2
8	10/24(火)	同上	体罰の6つの問題	7	1
9	10/31(火)	同上	感情のコントロール	6	1
10	11/7(火)	同上	やってみよう子育ての新しいアイデア	5	1
11	11/14(火)	同上	自己肯定感：否定的ひとり言の掃除	5	1
12	11/21(火)	同上	子どもをほめる・自分をほめる	6	2
13	11/28(火)	同上	母親らしさ 父親らしさ	7	1
14	12/12(火)	同上	MY TREE	6	1
15	3/6 (火)	同上	3ヵ月後のリユニオン	5	1

中間面接

	10/16(月)	同上	中間面接【個別面談】	1	2
	10/17(火)	同上	中間面接【個別面談】	5	1
	10/23(火)	同上	中間面接【個別面談】追加面談含む	3	0

【参加者数】 一回につき、5名～8名(15回連続講座)

(中間面接含み、延べ102名)

【一時保育】 「一時保育のべ26名」

(保育時間については、12時～17時30分)

参加者、一時保育児童の個別名簿については、別途報告済み

【事業成果】

1、参加者にみる成果

1) 学習への意欲と参加率

虐待する親の心理的特徴として、これまでの経験、生育歴などから「人には理解されない」と思い、自己肯定感の低さから人とのかかわりを恐れたり、拒絶する人も多い。加えて児童相談所のケースでは、DV（ドメスティック・バイオレンス）被害の生活実態や裁判への出廷等、社会的要因が複雑に絡まった状況にある参加者が多く、メンバーの固定までに、例年以上に時間を要することとなった。そのため、グループとしてのまとまり、所属感を作り出すための立ち上げ時期が遅れ、プログラム終盤に至るまで個別の電話対応や、プログラム実施日以外の面談を要したケースもあった。

メンバーの確定後は、次第にこれまでは継続した学習機会を持てなかった参加者たちが「時間を守る」「参加する」等の約束事を大事にして、グループの中で安心して語り始め、虐待する親を対象とした事業においてはきわめて高い参加率が示された。

終了時には全ての参加者が子どもとの関係の変化、自分自身の変化などについてアンケートで示され、3ヵ月後のリユニオン（同窓会）においても、勤務の都合で出席できず、メッセージを届けられた2名を含めて全員で修了し、2006年度のグループの解散を迎えることができた。

2) 親子の関係の変化、自分自身の変化

12月の14回目終了後のアンケートでは、参加者全員がこのグループに参加した意味を自分の言葉で語っていた。行動面では、子どもへの身体的・心理的虐待行動が著しく減り、「叩いていない」だけでなく、「今までは子どもは下に見ていた。親だから叩いてでも教えなければ、と思っていたが、子どもも一人の人間。MY TREEで尊重をいうことを学んだ。」などと述べ、子どもの話を聴いたり、子どもの意思を大事にした子育てを実践している人、教本の「しつけと体罰」の漢字が読めず、ルビを降って使用してもらった参加者が、分離中の子どもの引き取り準備に向けて、プログラム受講中に車の免許を取得してしまったり、食事についても、外食が、売っている惣菜を買ってくることしか食卓を整えることができなかった参加者が、正月の長期外泊で初めておにぎりを握り、肉を焼くなど、子どもを中心にした家族の養育環境の変化も見られた。

この参加者は、MY TREE 終了後に、特別に親しくはなかった知人から子どもへの虐待の相談「子どもに怪我をさせた」とSOSの電話を受け「私も今から駆けつけるけど、児童相談所に電話して、相談して。」と促している。後にこの件にふれ、「人の助けを借りることは大事。でも最終的には自分がどうするかなんよ。みんな、一人ひとり、自分のことをやっていくのだから。」と述べている。

また、家族内の関係性の変化では「夫にも自分の気持ちを言えるようになると、夫にもこれまで自分が知らないできた面があることが分かった」、セルフケアの面では「今までずっと荒

れてものを壊したり何かに依存することで気を紛らわせていた自分が、若い頃に断念した趣味を思い出して始めてみた」など、参加者それぞれに多様な変化を記されている。

3) グループ解散後に向けて

これまでに、虐待対応に悩む援助職から「グループの会合が進行している間はよいが、プログラムが終了した後は、意識や虐待行動が元の木阿弥にならないか？」との心配の声が寄せられることがあったが、2003年度から「わが町にしなり子育てネット」が実施したMY TREEグループでは、最後まで終了した全員が何らかの変化を見せ、しかも終了直後より月日を追い、年月を経るにつれて、プログラムを受講したことによる効果がより熟成されて深まりを見せることが明らかになっている。

2006年度のグループメンバーにおいても、3ヵ月後のリユニオン(同窓会)における語りを聴くと、例年と同じく、プログラム終了直後よりも、年を越していっそう個人内部での変化が発展していることがうかがえる。

多動と衝動性、攻撃性を持つ育てにくい子どもとの生活で、子どもへの虐待と、そのことに対する自分自身への処罰を繰返してきたある参加者は、参加当初「私は自分の人生で初めて巡りあった児童相談所のKさんのことしか信じない。Kさんに薦められたから面接だけは受けたけど、人と話すなんてまっぴら。今日はお断りしようと思って来たんです。」と他人への警戒心を出していたが、最終を迎える頃には「子どもも、こんな私が毎週足しげく通っているMY TREEって、何なんや?といぶかしがっている。“明日、行く日やろ?”ときいてくる。」と言い、さらに、終了3ヵ月後のリユニオンでは「つらいとき、落ち込んだとき、“もうMY TREE無いねんや。みんなどうしているのかなあ・・”と思い出す。一人ひとり、あの人があること言うてたな、あんなこと言うてたな、って思い出す。」とそれまでは語ったことのない素直な感情を表現した。

別の参加者が「人によって回復の時間は違う。壁にぶち当たって落ち込みをする時もあるだろう。そのときにMY TREE思い出して、壁にぶち当たって一人になったときにこの畳の部屋を思い出して。一人になったときMY TREEの意味がある。自分自身を信じて。人は変わるんやから。」「子どもを叩いたり、権力や暴力でおさえると、ひずみが出て倍返しになる。」と他の参加者の語りに応じるなど、生死を隣り合わせにした状況を幼少期から生きてきた当事者であるがゆえの「回復への確信」を、自分の言葉で表現していた。

リユニオンは、それまでの回で「自分が虐待を受け、親と離れ、いじめを受けて行き場もなくてつらかった子ども時代、歌だけが自分を助けた」と語り、グループメンバーの共感を得ていたある参加者からの提案を受け、「思い出のアルバム」の唄を全員で合唱した。この回を最後に、3月6日をもって、グループは解散し、今後個人的な連絡等を取り合うことはないが、それぞれの生活の場で学んだことを使っていく意思の確認をして終了した。

【効果測定：参加者の声、自己評価】（添付資料にて別紙報告）

プログラムの効果に関しては、参加者自身の意識と行動変容の自己評価に焦点を当て、プログラムの開始前と14回目が終了した時点での変化を残している。これは、自分自身を振り返り、変化の力と課題を見つめる経験を通して、終了後も当事者自身生かされることを意図して実施しているものである。

自由記述をまとめたものは、例年プログラム修了時、3ヵ月後のリユニオンで渡しているが、「苦しい時、淋しくなった時には、取り出して何度も読み返してMY TREEのみんなもどこかがんばっているんだ、と励みにしています。」という修了者も多い。数値に関しては、当事者にとってどのような意味があるのか、ということが重要なのであり、他者や一般との比較を生み出すことを避けるため、他の参加者のものは渡していない。

評価すること自体が、親の持てる力を引き出す作用をもたらすものとならなければならない。この参加者に対する徹底した尊重は、どんなに厳しい状況におかれた人も、自己回復の復元力(レジリアンシー)を有しており、他者とのつながりによって自分への信頼を取り戻し、暴力を乗り越える可能性を持っているとの信頼が基盤となる。まさにこのことが、MY TREEペアレンツ・プログラムの根幹をなす、エンパワメントの考え方であり、プログラムの成果をもたらす原動力である。

2、事業実施体制における成果

【広域実施を視野にいれた協力体制】

1) 行政間協力 虐待防止対策に欠かせない転居ケースへの対応

従来から、深刻な虐待ケースでは転居を繰り返すことが多々見られ、問題を惹起すると指摘されてきた。平成19年1月23日付の厚生労働省通知「児童虐待防止対策の強化について」では、「児童相談所運営指針の改正、その他の措置」の中で、具体的に今年度夏を目途とした「転居ケースへの対応強化」があげられている。この背景にはさまざまな要因があるが、とりわけDVと子どもの虐待の関連性が注目されている。DV被害を受けている女性がパートナーの暴力から逃れるために突然の転居の形となったり、DV加害者に居住地が判明することを恐れて住民登録を避けるなどのケースがあり、生活の条件も厳しくなるため、子どもの安全も保てないといった状況が生まれる。このため、DV防止の対応では、都道府県をまたがった支援がうたわれ、実績をあげてきた。子どもの虐待対応においては、個々の行政の枠組みや、個人情報の取り扱いの違いなどから、児童相談所間での情報交換、支援の引継ぎがなされず、潜在する虐待ケースが死亡事例に至って初めて明るみに出るといった事象が起こっているため、取りこぼしが無い仕組みづくりが求められている。

2003年より大阪市内でMY TREEペアレンツ・プログラムの実施が始まって以来の参加者の状況を見ても、大阪市 大阪府内の住居移動が数年以内に行われていたケースは比較的多く、プログラム進行中の転居もめずらしくなかった。また、地区別で見ると、過去に市内南エリア、とり

わけ「西成」周辺に居住していたことがある人が例年、複数見られた点が目立っていた。

2) プログラムの特性 広域実施、相互乗り入れの重要性

虐待している親を対象としたプログラムにおいては、大きな集団を対象とした予防啓発事業や、地域の親同士の日常的な顔の見えるつながりを促進する子育て不安の親への予防対策とは異なり、居住地での開催は、当事者が参加すること自体に躊躇を見せることが多い。MY TREEペアレンツ・プログラムは毎回、厳密な守秘などの約束事の確認をはじめ、安全な場づくりのための働きかけがなされるので、準備会の顔合わせを経て、いったん開始してしまえば、地元であっても安心して参加することができる。しかし、当事者たちは、参加の条件として「知った人には誰にも会わない、離れた土地だから、自分のことを言えるかもしれないと思った。」「地元なら誰に会うかわからない。とても参加できなかつた。」等と述べている。

したがって、虐待する親のグループ・ミーティングは、生活圏でない場所での匿名性が保たれる環境を用意することが、参加者募集の段階では重要な一歩となる。これを満たし、今後想定される行政間の協力体制ともからんで、広域で行政間の相互乗り入れの制度を生かしていくことが求められている。

今回の事業において、いずれ虐待する親を対象としたプログラムを実施することが予想された大阪府子ども家庭センターとの相互乗り入れを見越して、大阪府は当初から連携を取り、参加メンバーの席に余裕がある場合、積極的に受け入れを行った。

MY TREE ペアレンツ・プログラムのグループメンバーの最適な構成人数は10名であり、人員が少なくなるとグループ・ダイナミクスが働きにくくなって、プログラムの効果が半減する。また今回、大阪府中央児童相談所からの候補者は当初、12名あがっていたが、面接結果、及び本人辞退の結果、本市ケースが5名となった。大阪府からの紹介を受けて、受諾を認めた2名を入れて、最終的に決定したメンバーが7名である。あがってきたグループメンバーの中でも、大阪府からはより厳しい状況にある親子を優先的に引き受けることができたことで、大阪府在住の参加者にとってもこの2名の参加によって多大な刺激を受け、グループ全体のまとめ、ワークの進行を促進する大きな役割を果たした。

【官民協働の運営形態について】

1) 子ども対応（親指導）を行う行政と、親の回復を支援しケアすることを専門にする民間との役割分担

従来、援助職の間でも「虐待をしている親は指導に反抗的」との意見、また「児童相談所の面接にも来ないのに、毎週15回ものプログラムに参加する人なんていないのではないか。」と実感として言われることが多かった。今回の参加者については、かねてからの児童相談所のケースワーカーが苦心して親との関係づくりに力を割いてきたことで長い時間をかけて信頼を得、「あの先生のいうことだったら」と参加につながったケースが複数見られた。

MY TREEペアレンツ・プログラムは、随時参加者募集しているオープン・ミーティングの場とは異なり、メンバーを固定して段階的に学びを反復するため、途中参加はできない。そのため、一定時期に集中して参加者募集する必要性があり、児童相談所との信頼関係があることを前提とした募集は難しい。むしろ、親支援事業においては、児童相談所に対して敵対する関係になっている親に働きかけをしていくことこそが求められている。今年度、児童相談所との信頼関係の構築にまで至っていない比較的新しい相談ケースで、プログラム運営側が民間のケア職であったことが参加へのモチベーションに好影響をもたらした参加者が複数見られた。

以上のことから、今年度スタートした当事業において、加害をした親に対し、ときに公的な強制力を行使することもある児童相談所と、虐待においこまれた当事者の回復を支援する民間との役割分担が一步前に進んだことは、画期的な成果であったと考える。

2) 開催場所の選定について

多くの虐待する親たちにとって児童相談所は「呼び出し」を受け、指導を受ける機関であり、安心して“よい親になること”のとらわれなく自分自身のことや家庭の問題を語る場所とはなりにくい。また、それまで誰にも言えなかった自分のこと、子どもに対して行った過去の行為について正直に話せば、「警察に通報され、刑罰を受けなければならない」と思い込んでいる親も少なからず見られる。今回の事業実施にあたり、あえて児童相談所内で行わず、適切な保育場所から徒歩で移動できて、またプログラムの効果を上げる和室が提供できる施設を使用した。このことも参加者の安心につながったと考える。関係者のご尽力に感謝したい。

なお、和室を確保することは、MY TREEペアレンツ・プログラムの効果をより高めるために重要な点である。虐待する多くの親はストレスによる何らかの心身関連の症状を持っており、うつ症状などの気分障害やためこんだ怒りや不安に関連して身体の柔軟性が損なわれたり、呼吸が浅く、パニック障害や過喚気症候群に陥りやすかったりなどの苦痛を日常的にかかえている。深刻な虐待のケースほどその要素は大きい。こういった状況の親に子育てノウハウや養育方法についての指導を行おうとしても、もっと前段で必要な生理的ニーズが満たされていない限り、ダイナミックな変化は期待できないのである。

「虐待する親」が虐待をやめることを目的に開発されたMY TREEペアレンツ・プログラムは、子育ての工夫や感情調整などのスキルも扱うが、理性にのみ働きかけるのではなく、精神と身体、その人の感情、固有の感覚すべてを刺激しながら、やがて統合をめざすHolistic(ホーリスティック)な心理教育的アプローチである。

具体的にはプログラムの名まえにあるシンボルをつかった木のイメージの深呼吸や、音楽も使って思い思いの楽な格好でリラクゼーションを繰り返して体得し、子どもに対して暴力を向けそうになった時、自分への攻撃をしたくなった時、孤立感・疎外感に耐えられなくなりそうな時、それぞれの生活の中で、プログラムが終了しても資源として使えるようになっていく。

これが会場探しの困難さから、机と椅子の会議室仕様の部屋を代用したり、窓から外の景色が見えないビルの中などでワークを行うとなると、せっかくの MY TREEペアレンツ・プログラムの効果が半減することとなるであろう。これまでのグループでも、「あの畳の部屋で語り合った特別な時間」が、終了後年を経てなお、特別な記憶となって参加者たちの中に残ることが聴き取りされている。参加者個々の生活実態として、ゆっくりと自分のためにお茶を飲む時間も持つ心理的余裕さえなかった人も多い。なおのこと、和室の畳の感触、落ち着き、足を投げ出してリラックスできること、障子を通して入る穏やかな光、和室から醸しだされる雰囲気 MY TREEペアレンツ・プログラムで学んだことと一体となり、安心の記憶として印象を残している作用は大きいと思われる。プログラムの効果を最大にあげるために、環境の整備は、今後も大事にしていきたい点である。

【課題および今後の方向】

1、自治体間の相互乗り入れによる広域実施

大阪府でも 2007 年度から、行政と民間が協力して虐待する親への回復支援「虐待をしてしまう保護者への治療」事業を開始する運びとなり、2006 年度の大阪市における官民協働事業の成果が目され、MY TREEペアレンツ・プログラム実施の事業委託がなされるものと聞いている。

大阪市が虐待防止対策の今後を見通した広域実施、相互乗り入れを先進的に取り組まれたことによって、大阪府の事業化にも道を開いたものと思われる。今後も、単に毎回のプログラムをファシリテートするだけでなく、募集からその後のフォロー体制まで、大阪府と連携するとおもに大阪市中央児童相談所との協働で、今後の方向性を見据えた虐待防止事業の運営につとめていきたい。

2、参加者の募集（選定）について

今後も開催前の募集については、児童相談所が中心に進行している虐待ケースを始め、児童相談所の指導を受けながら 24 区の家児児童相談室や、子育て支援室が支援する、在宅で子育てに悩んでいる親の「見守り」ケースも含めて官民協働の利点をいかして効果をあげていきたい。

また、虐待通告であがってきたケースだけでなく、直接の虐待ケースとしてあがってこない「非行」や学習障害、子どもの困った習癖の相談、不登校・引きこもり等の相談ケースにおいても、虐待との関連が潜んでいる可能性があり、着目したい。

3、開催場所について

第一に、児童相談所以外で開催することが重要である。また、ワークの場所と保育が違う建物で近隣（徒歩圏内）にあること、場合によって交通機関の最寄り駅への出迎え等、臨機応変に迅速判断、対応を要する場合もあり、ワークと保育は連動していないが、保育スタッフのトレーニングも含めて、個人情報の基本的な扱いをふまえたファシリテーターと保育チームメンバー間の運営会議が持てることが不可欠となってくる。今後も、地域の虐待防止ネットワークの協力を得て、官民協働事業を進めていきたい。

4、パートナーのフォローについて

プログラム参加中、パートナーからの電話相談や、来院を受けたケースもあり、参加者の状態によって今後もそうしたパートナーからの相談、依頼を受けることもあると予想される。

また、父親も子どもに対して虐待をしているケース、パートナーによる虐待を止められない母親もあり、男性ワークとのタイアップが可能であれば相乗効果となるので、同時に考えていきたい。

5、父親による虐待

MY TREEペアレンツ・プログラムは、虐待する父親も対象にするが、性別にグループを作るため、10人ほどの父親がいないとグループが作れない。虐待する父親のグループを進行させるためには、裁判所が直接、プログラム受講命令を出す法制度ができなければ困難である。

6、スーパービジョン

MY TREEペアレンツ・プログラムが効果をあげている一つの要因は、スーパービジョン体制を徹底させていることにある。1クールの開催のために、少なくとも2回の個別スーパービジョンと3回のお他グループとのネットワークも兼ねての全体スーパービジョン及び、継続的研修の受講が求められる。メールや電話・郵送でのスーパービジョンも数多い。こうしたスーパービジョン体制のための時間や経費のほとんどはファシリテーター自己負担となっている。また、スーパーバイザーがこの事業のために費やす時間の一部の予算しか計上されていないためボランティアで協力してもらっている。

来年度は、こうしたスーパービジョン体制をきっちりと確保するための予算確保を期待したい。

以上。

特別部会

・第3回こども元気まつり

第1回 松通公園、第2回 天下茶屋公園で開催。第3回は「児童館・トモノスの活動や今後について、区民に周知」の主旨にも照らし合わせ、6月4日(日)に松通公園での開催となりました。

《参加施設》

協 賛：西成区地域福祉アクションプラン策定・推進委員会

実行委員会：西成児童館・西成地域福祉アクションプラン(子ども部会と障害者部会)

西成青少年会館・トモノス西成・西成子育て支援センター

西成天下茶屋ボランティアグループ・子どもの里・ボーイスカウト44団

今池こどもの家・第1青空学童保育所・青空第2学童保育所・岸里学童保育所

たちばな学童保育所・チップス保護者会・ぴょんぴょんクラブ

ミニミニフリマ・ちびっこクラブ・保育ボランティアすみれ・ラポール

西成障害者会館・ふれあい喫茶(喫茶たちばな・梅南ボランティア喫茶)

《開催主旨》

- ・ いつでも、だれでも、みんなが楽しく、安全に遊べる公園づくり
- ・ 地域の人と人のつながりづくり
- ・ ネット加盟の小学生施設の連携の強化
- ・ ネットおよびその関係者と地域諸団体との連携
- ・ 各参加団体(施設、個人)の活動の紹介、周知
- ・ 地域のボランティアの発掘と育成
- ・ 児童館・トモノスの活動や今後について、区民に周知

《対象・想定人数》

- ・ 幼児 約100人
- ・ 小学生 約300人

《内容》

- ・ イベント：ポイントラリー
- ・ コーナー：工作、ゲーム、物品、飲食、バザー
- ・ その他：絵本の読み聞かせ、たまねぎ座談会(アクションプランと連動) たまねぎ提供

《まとめ》

時期は、6月初旬でしたが、晴天で気温が高く、陽射しの強い中で開催しました。また、早くから実行委員会を立ち上げ、準備が進められたことで、区内の情報誌に記事を

掲載されたり、区内全小学校で配布していただいたりと広報、宣伝面が充実できたこともあり、当日の松通公園は約600名(実行委員、ボランティア含め)の人達で賑わいました。

今回は、どのコーナーにも参加してもらおうと「ポイントラリーにチャレンジだ!」を作成し、多種多様なコーナーの呼びかけを行い、どのコーナーにもたくさん子ども達で賑わい、楽しいまつりとなりました。

前回課題となった 幼児コーナーの充実 実行委員の意思統一・連携強化 「地元」の青少年ボランティアの育成の3点については、どれも積極的に進められました。

としては、各コーナーでの工夫もあり、幼児の子ども達でも気軽に参加できる取り組みができました。

としては、会議を重ね、ひとつひとつ確認し、実行委員としての意識を高め、意思統一をはかることができました。

としては、呼びかけは行っていたものの、参加は少なく、今後の課題としてのこりました。しかし、地元のボランティアグループの方は、たくさん参加して頂き、自転車整理や、ゴミの片付け、水まきなど積極的に動いて頂き、まつりをスムーズに進行することができました。

次回以降の課題としては、天候に合わせた対策(暑さ対策) 「地元」の青少年ボランティアの育成などが挙げられます。

次回(第4回)も、さらによりよい、みんなが楽しく元気になれる「子ども元気まつり」をつくっていきましょう。

(青空第2学童保育所 古谷)

・第5回フリーマーケット

実行委員会：ハギッズ編集グループさくら組・実行委員(各組織代表)・事務局

開催日：2006年10月29日(日)午前11時～午後3時(スタッフ集合は午前9時)

場所：西成青少年会館 体育館と中庭・ピロティー

参加者：1250人(内スタッフ 40名)

《アンケート回収》

来場者223枚 出展者57枚 スタッフ18枚 模擬店4枚 合計302枚

《出店状況》

- ・申込み数 60ブース(キャンセルが3ブース/キャンセル待ち10件)
- ・飲食模擬店 飲食8店/ゲーム2店
- ・ベビーカーの貸し出し/5台

施設・団体名	内 容	代表者名
西成区子ども・子育てプラザ	フランクフルト	志野
たちばな学童保育所	舞茸ご飯・いなりずし・キャンディれい ミルクせんべい	加藤
西成児童館の会	駄菓子・ジュース・ボール入れ・わなげ	出水
ラポール	ポップコーン・玉子たこせん	出水
人権協（沖縄店）	沖縄そば・ポーク玉子	玉城
子どもの里	カレー・ポテトフライ・から揚げ・照り焼き丼 駄菓子・ポップコーン	荘保
チップス保護者	ミルクせんべい・やきそば	関口
すみれ	千本引き	金田
青空学童保育所	ホットドック・ホットコーヒー・ジュース	井樋
青少年会館	コリントゲーム	松元

- ・あそびのコーナー ファミリー・サポート・センター西成(亀岡)
 ラポール

《会場設営》

- ・駐輪場 青少年会館駐車場及び、青少年会館西側ピロティー(柔道場付近)
 当日、駐輪場整備は、陽だまり組のみなさんをお願いした。
- ・ブース 体育館(2階)2m×2m(1ブースあたり)
- ・模擬店 1階メイン通路 雨天時はピロティーを利用
- ・その他 休憩所・抽選会場・あそびのコーナーはステージ前
 館内は禁煙 駐輪場付近に喫煙所を設置
 前日も午後1時30分より青少年会館に集合して準備を行った。

《模擬店》

- ・模擬店については一般からの出店は不可
- ・ブース料金は1000円
- ・独立採算で雨天時や中止などの時の補償はなし
- ・値段は常識の範囲内 またはネット主催行事ということ意識して
- ・衛生面には十分な配慮としかるべき道具等の準備および搬入については各自で行う。
(卵・乳・小麦・そば・落花生の5品目のアレルギー表示、ビニール手袋の着用)
- ・模擬店終了時間は午後3時
 机・イスについては事務局で準備

《抽選会》

- < 目 的 > 集客のひとつとしてまた、来場者を滞留させる方法として行う。

- < 方法 > 抽選会を2回実施
- < 時間 > 1回目 12:00 2回目 14:30
- < 司会 > 今池こどもの家 澤村
- < 予算 > 1万5千円以内(1回目5000円)(2回目10000円)
- < 賞品 > 1回目特賞及び各賞はフリマで使用可能なチケット
2回目特賞及び各賞は賞品
今回特別賞の景品は事務局長寺本氏からの寄付によるもの
出店者へは事前に説明し、時間を決めて返金するようにした。
抽選券の配布方法・・・受付で番号付の抽選券を当日配布(半券を抽選箱へ)

《出店者および参加者のとり決め》

- ・会場内禁酒・禁煙 駐輪場付近に喫煙所を設置
- ・体育館内での飲食は不可
- ・路上駐車厳禁
- ・お店に関しては自己管理また、終了時まで営業を続ける。
- ・飲食の販売と物販は完全に分ける。

《広報・宣伝》

開催チラシ 4500部印刷・配布(10/1発行)(青少年会館 村田)
広報誌掲載

《搬入・搬出》

〔搬入時間〕午前9時30分～受付終了

- ・車での搬入は通路部分に進入可能ただし、荷物を降ろした後すぐに移動。
係員の誘導に従う(荷物の搬入を手伝う要員が必要だった。お母さん一人では運べない状況もあった)

〔搬出時間〕午後3時以降

《スタッフ》

- ・スタッフは目印に腕章をつけた。
- ・自転車整理係の陽だまり組の皆さんにお礼として金券を配布した。

《出店者》

- ・カラー布テープ等でブース番号をつけた。

《その他》

- ・参加者説明会
10月2日、3日(10:00～、13:00～、19:00～) 子ども・子育てプラザ、西成青少年会館
10月20日(19:00～) 子ども・子育てプラザ
- ・アンケートの実施

《反省会の内容》

2006年度の成果と反省点	2007年度への課題・その他
1. 日程、場所について	
<p>10月29日については、他の事業との関係もあり、妥当ではないか？</p> <p>時間も11時～3時でちょうどいいのではないか。</p> <p>来年度は10月28日(日)を予定。</p> <p>場所については、青少年会館の動向もあるので、ネット全体で考えていく。</p>	<p>日程 10月28日(日)を予定</p> <p>時間 11時～3時</p> <p>場所は 未定 (区民センターは使用できない)</p>
2. 実行委員会について	
<p>立ち上げが、児童館問題などもあり9月になってしまった。少し遅かった。例年は5月には立ち上げている。フリマは実行委員会形式で、どこが主体的に進めていくかが不明確である。</p> <p>他の行事は担当がきちんと決まっているが、フリマについては、なかなかしんどい状況があるので、事務局と具体的な、担当を割り振りしていく方向で進めるのはどうか。</p> <p>もっと事務局が全体をまとめていき、事務局メンバーが全体把握をするように、会議の充実を図り、横の連絡を取る必要がある。</p>	<p>来年度はメンバー全委員が実行委員会ということと、フリマの事務局を明確にする。</p> <p>事務局 = 事務局長・さくら組(3名)・子育てプラザ(3名)・保育所幼稚園代表・今池子どもの家・支援センター(2名)・わいわい・児童館の会・区社協・(青少年会館施設)で構成。</p> <p>事務局会議を効率よく実施し、各団体の役割を明確にしていく。</p>
3. 事前準備について(加盟団体への呼びかけ・広報・実行委員会・事前準備など)	
<p><u>実行委員について</u></p> <p>全体で確認したが、結局は同じメンバーで運営している。</p> <p><u>広報について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日新聞とわが町にしなり、にしなり新聞、青館の実のなる木、ハギッズに掲載した。 (今年は日程ぎりぎりになってしまった) ・配布物については、ポスターを貼るのか貼らないのかなど、細かいところで、意思疎通ができていなかった。 ・毎年夏に募集をしていたが9月になってしまったので、掲載を見ていないかもしれない。 <p><u>越前屋とはやし</u>に当日チラシを、置いてもらった。常時は無理だが、前日か当日くらいなら置いてもらえるようである。</p>	<p>事前の準備には必ず各施設から参加が必要。</p> <p>広報については、募集と開催を必ず掲載する。</p> <p>広報に申込用紙も掲載するのもいいのではないか。</p> <p>8月号に掲載するなら、各紙7月10日までには記事依頼が必要。</p> <p>周知方法の開拓を 他にスーパーや商店街など、新しいところの開拓が必要。</p>

<p>当日、今池こどもの家の子どもたちが、商店街でチラシの配布をしてくれた。</p>	
<p>4. 当日の役割分担・その他について</p>	
<p><u>受付</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはり混雑してしまう。午前中だけ人数を多く配置するのはどうか 午後から、わかかさ保育園のスタッフが参加してくれたのでよかった。 ・2Fの受付を、もう少し場所を広くとってチラシなどをおくのもいいのではないか。 ベビーカー（5台）を設置したのは、利用者にも好評で常時貸切り状態であった。 <p><u>スタッフの配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前も入っており、役割がはっきりしてよかった。 <p><u>お店について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書道の方は趣味でしているということでしたが、今回ビーズなど手作り物はなしとした。 今後手作りや趣味的なものはどうするのか、検討が必要。 <p><u>保育所などの展示について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階ではあまり見ていないようである。 ・展示場所は1階で休憩場所を作り、そこに展示したほうがいいのではないか。 ・チラシはどれくらい減っているのか？ <p><u>搬入・搬出について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ、うまくいった。陽だまり組の皆さんが荷物を運ぶのも手伝ってくださった。 <p><u>自転車</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人の方が自転車を盗られたと言っていたが、家族の方が乗っていたということで、一件落着。 <p><u>飲食</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は意外と食べ物がたくさんあった。 ・少し売れ残ったお店もあった。 ・アレルギー表示は、途中でファックスで知らせたが、今年はあまりできていなかったのので、会議の時からきちんと確認をしていく必要がある。混雑時に昼食をとるお客さんのスペースが狭そうだった。 <p><u>抽選会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを徹底を金券配布時しておく。 	<p>門を狭くして、必ずそこを通るような工夫が必要。 出展者への目印の徹底。 受付の忙しい時間帯は人数をふやす。</p> <p>ベビーカーの貸し出しは今後も実施するという方向で。</p> <p>趣味的な出展については検討していく。</p> <p>飲食場所の確保を広めにとる。</p> <p>アレルギー表示について、事前から計画をする。</p> <p>金券のことなど、ルールの説明を徹底する。</p>

<p>・1回目の金券のことを、もっとアピールしておくべき。</p> <p><u>アンケート</u></p> <p>・景品について、前日は2個配布する予定だったが、足りなくなるかもということで、1個にしたが、途中から2個にしたということで、最初の方には1個しか渡していない。</p> <p>・アンケートは例年よりたくさん集まった。</p> <p><u>来場者223枚 出展者57枚 スタッフ18枚</u> <u>模擬店4枚 合計302枚</u></p>	<p>アンケートはそれぞれ色分けした方が 良い。</p>
<p>5. その他</p>	
<p>ごみの分別ができていなかった。 路上駐車は、今年はほとんど無かった。</p>	<p>ネットとしてのブースや「あれん会」 のブースを出すのもいいのではない か。 ごみの分別をきちんとできるように工 夫が必要。</p>
<p>6. トラブル・クレームなどについて</p>	
<p>ブース番号の割り振りミス。番号を一部間違った。 アンケートの準備ミス(ブース用と模擬店用を間違え た。)</p> <p>購入物品の忘れ物で、受け付けに預かったが、誰に渡 すかが間違ってしまうなどがあるので、預からずに放 送だけにしたほうがよかった。</p>	<p>物品の忘れ物などは、お店で預かって もらうなど細かい点での打ち合わせが 必要。</p>

《フリーマーケットを終えて》

西成青少年会館において第5回フリーマーケットが開催されました。

例年5月頃より実行委員会が立ち上がり、準備など進めてきましたが、今年度は大阪市の市政改革にとともなう児童館、トモノスの廃止と言う問題で、事務局であった西成児童館の機能が止まってしまい、夏明けと言う例年になく遅い実行委員会スタートになってしまいました。

事務局も青少年会館に決まり、慌ただしくとても急いだ準備になりましたが、なんとか皆の協力のもと、成功することが出来ました。

区のイベントとして定着しつつあるフリーマーケットをリサイクルの場、出会いの場として開催していきたいと思います。

(さくら組<ハギッズ編集グループ> 鈴木・中村・相原)

・第8回子育ての集い

「子育ての集い」はわが町にしなり子育てネットの中心的な活動であり、地域がつながり交流を深めお互いの子育てを応援しあうものです。合言葉である「いつでもどこでもみんな子育て」の原点でもあります。

2007年3月1日(木)区民センターにて実施された第8回「子育ての集い」は子ども340名・保護者210名・スタッフ及びネットの加盟団体の他、新たに消防署やボーイスカウトの積極的な参加も含め、合計658名(事務局集計)の参加がありました。

《目的》

発足後、7年経過し、子育てネットの活動や構成団体(66)の事業を広く区民や関係者に知ってもらいながら、ネットの目的である子育て中の親の仲間づくりのきっかけの場を提供する。そして、子どもの育つ力や子どもを育む力、子どもを支える力を親・地域住民・施設・専門機関、そして役所等が一体となって支援していく「子育てをみんなで」という意識と活動の輪を町中に広げる。

日時 2006年3月1日(木)午前10時～12時
場所 西成区民センター(西成区岸里1-1-50 6651-1131)
対象 乳幼児と保護者 参加費無料
主催 わが町にしなり子育てネット
後援 西成区社会福祉協議会・西成区社会福祉施設連絡会
協賛 西成区児童虐待防止・子育て支援連絡会議
協力 西成区ふれあい喫茶連絡会・ボランティア 陽だまり組

実施内容(プログラム)

9:45～11:45	わいわいパンダゾーン(おもちゃがいっぱいの遊びのゾーン)
10:40～11:30	お楽しみゾーン(ミニシアター・大型絵本・手あそびなど)
10:10～11:30	子育て相談・紹介コーナー (子育てなんでも相談コーナー・子育てサポート施設・団体紹介コーナー)
10:00～11:30	リサイクルコーナー (子育てにやさしい、環境にやさしい、サイフにやさしいコーナー/11:30閉店後、 即片付け)
10:00～11:45	ふれあい喫茶コーナー (コーヒー・紅茶・ジュースの販売/西成区ふれあい喫茶連絡会有志)
10:00～11:45	消防署コーナー (ミニ消防車写真撮影会・消火器の使い方・プレゼント)
11:45～12:00	レッツダンス!(アヒルのダンス・アンパンマンのサンサン体操)

子育て支援関係機関会議を子育ての集い実行委員会と兼ねて実施

《その他》

- ・司会進行と各コーナーの時間調整等の事前打ち合わせが必要
- ・リサイクルコーナー終了時間の徹底

子育ての集い役割分担

係	内 容	担 当 者
事務局		ネットルーム（青少年会館・わいわい）
会計		子ども・子育てプラザ
広報	各広報紙依頼・宣伝	さくら組（ハギッズ）・たんぼぼ（HP） ネットルーム（広報紙掲載依頼／チラシ作製）
会場交渉	申し込み	保険福祉センター
会場設営	展示パネル・テーブル・椅子など	加盟団体すべて 前日（2/28）準備 10時～15時
会場装飾	風船（玄関アーチ・パンダゾーン）万国旗など	加盟団体すべて 相原・関口 風船準備 出水依頼
運搬	萩の里 センター	人権文化センター（2台）運転手2名 おもちゃ運び出し（支援センター・プラザ）
会場マット	セラピーマット	おもちゃ図書館パンダ・プラザ・保健センター
看板		湯川
名札（参加者用）	カラー布テープ	小掠
腕章	スタッフ・ボランティア	区社協
団体名表示		寺本
総合案内・防犯会場管理	総務・迷子・落し物	小掠・出水・岡田
司会進行		古谷
受付	マジック	公立保育所・幼稚園
受付配布物	アンケート・会場図・ハギッズ/入浴剤	アンケート（ネットルーム）・会場図（小掠）・ハギッズ/入浴剤（区社協） 受付で名簿は使用せず チラシ・パンフ類は配布せず 会場図配布数で集約
パンダゾーン	大型遊具（ジャングルジムは出さない）	おもちゃ図書館パンダ 搬入後の片づけ要員（支援センター・プラザ・区社協） パンダ開催日のためおもちゃ（ボールプールなど）パンダ終了後の搬入（関口・金）
楽しみゾーン		公立保育所・私立保育園・公立幼稚園・図書館
相談コーナー	マット・おもちゃ	保険福祉センター・子ども支援室・子育て支援施設連絡会・青空学童保育所など
リサイクルコーナー	10ブース	プラザ集約
ふれあい喫茶	釣銭準備（岡田）	西成区ふれあい喫茶連絡会
レッツダンス！	アヒルのダンス サンサンたいそう	公立保育所

絵本・手作りおもちゃ・あそびコーナー		図書館/ファミリー・サポート・センター西成/プラザ 今池こどもの家/ボーイスカウト
救急		保健センター(手当)今池こどもの家(救急箱)
授乳・おむつ交換所	会場内に設置(パネルで囲む)	保健センター(青マット・布マット)
バギー置場		

～第8回子育ての集いアンケート集約～ 回収数 80

1. 子育ての集いはどこで知りましたか？(複数回答可)

ハギッズ(30)・知人から聞いた(18)・施設や役所などで聞いた(16)・チラシ(13)
 広報紙(にしなり我が町、にしなりタウンなど)(8)・ポスター(7)HP(3)

2. どちらから来られましたか？

天下茶屋	千本南	千本北	岸里東	橘	天下茶屋東	花園南	塩路	松	岸里	玉出西	梅南
6	6	6	5	5	4	4	4	4	3	3	3
天下茶屋北	聖天下	天神ノ森	花園北	千本中	長橋	玉出中	旭	津守	南津守	北津守	その他
2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	8

3. 子育ての集いに参加していかがでしたか？

とても良かった(47)・まあまあ楽しかった(29)良くなかった(0)

4. お子さんの反応はいかがでしたか？

とても楽しんでた(45)・まあまあ楽しんでた(25)・
 あまり楽しんでいなかった(2)

どのコーナーが良かったですか？(いくつでも)

わいわいパンダゾーン(45)・お楽しみゾーン(30)・リサイクルコーナー(23)
 ふれあい喫茶(10)・子育て相談コーナー(2)・団体紹介コーナー(2)

5. 相談コーナーにはいらっしゃいましたか？

行った(5)・行かなかった(75)

どちらのコーナーに行かれましたか？ (手あそび)

担当者の対応や印象はいかがでした？ 良かった(12)・良くなかった(1)

6. リサイクルコーナーはいかがでしたか？

良かった(12)・良くなかった(4)・ふつう(1)

7. 主催しているわが町にしなり子育てネットについてご存知でしたか？

知っている (48)・聞いたことはある (15)・知らなかった (8)・初めて知った (7)

8. 今後、わが町にしなり子育てネットにどのようなことを期待されますか？

集いをもっとして欲しい・もっとイベントを増やして欲しい (7) 顔の見える助け合い・またやって欲しい (3) 子どもも大人も楽しめるもの・リサイクルがんばって欲しい・子育てサークルの日を増やして欲しい・老若男女が参加できるものをして欲しい・多くの遊ぶ場所を提供してほしい・子育てしやすい西成になっている など

その他

・第1回西成大好きドッジボール大会

《主催》 西成大好きドッジボール大会実行委員会

《後援》 わが町にしなり子育てネット

《目的》 区内の小学生が気軽な形での行事を通して、顔の見える交流を行う

《参加施設》 今池こどもの家 (事務局)・青少年会館ながはしチップス

西成区子ども・子育てプラザ・たちばな学童保育所

第1青空学童保育所・青空第2学童保育所・岸里学童保育所

《場所》 西成青少年会館

《対象・参加人数》 小学生 合計30人

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
岸里学童保育所	4	2	2	1	1		10
たちばな学童保育所				1		2	3
第1青空学童保育所	3				1		4
青空第2学童保育所		2	3		2		7
西成区子ども・子育てプラザ						4	4
青少年会館ながはしチップス							
今池こどもの家	1	1					2

《内容》

- ・ 実行委員会で調整後、ドッジボールの西成ルールブックを作成し、低学年と高学年に分けて、各施設の壁を越えてチームをつくりました。
- ・ 各2試合ずつ行うリーグ戦方式で行いました、試合の消化が早かったため、エキジビジョンマッチとして、高学年の優勝チームと職員が対戦する
- ・ 優勝チームのメンバー個々に表彰状を授与

《まとめ》

使用球はソフトキャンディーボール等使用、子ども達の反応もとても良く「楽しかった」「またやりたい」など全体としての趣旨は達成できました。

当日受付を設置する。しかし、当日の全くのフリーな子どもたちの参加はなかった。

《次回開催・次回以降の課題》

次回開催は1月下旬または2月上旬に実施予定、場所は青少年会館施設
今回フリーの子ども達の参加がなかったので、宣伝の仕方に工夫が必要だったこと、ドッジボールの西成ルールブックによる、審判のスキル不足が課題になりました。

また、障害のある子どもや、運動が苦手な子どもでも、気軽に参加して交流できる大会づくりを、めざすにはどうすればよいのかなど

・はぎマンサイ

「はぎマンサイ」編集委員会の活動

わが町にしなり子育てネットでは「いつでもどこでもみんなで子育て」を合言葉にこれまで子育てネットワーク活動を続けてきました。その一つとして区内の子育ての当事者をはじめ子育て関係者に子育て情報の発信を様々な手法を使いすすめています。

子育てネット機関紙「ハギズ」(年6回4500部)はこれまで1号~39号を発行。ホームページ<http://haginet.2.pro.tok2.com/>も5万9千人以上のアクセス数となっています。2007年2月には「あい・eye・ネット」ブログ<http://plaza.rakuten.co.jp/aieyenet/>を立ち上げサークルやボランティアの活動を発信しています。また様々な子育てに関わるイベントや講座の開催を通じてビラ、チラシ、ポスター等を区内に配布したり、他誌への掲載、紹介記事や口コミ情報も当事者を通じ積極的にすすめてきました。また、2002年2月区内の公園を紹介した公園マップ(10000部)発行、2004年3月には、「Mama's う`おいす」1号(A3判4ページ、9000部)を発行し、子どもの声、保護者の声を伝えました。2005年3月には情報誌「Mama's う`おいす」(A5判44ページ4500部)を発行し子育てマップ(子育てに関わる機関や施設、団体の紹介)だけでなく虐待防止や子育てQ & Aなどを盛り込んだ情報を発信してきました。

いずれも、発行にかかわったお母さんたちには大きな負担となりましたが、子育ての当事者が中心となった編集方針を崩さず、子育てにやさしいまちづくりの大きな力となっています。こうした流れの中で、一人のお母さんがメールを使った情報発信を独自に構築するなどの努力も見られました。更にこうした情報発信のメンバーが連絡会を作り共通の情報収集ファイルが作られて閲覧できるよう児童館に置かれていました。

このように、様々な情報発信を続けてきましたが、受け取る側からもっと身近な子育て情報を、子育てに役立つ情報を、身近な生活情報をとの声も出されています。また、情報を受け取る事の出来ない人、本当に情報が必要な人に届いていないとの意見もあります。

そこで受け取りやすいもの、届けて喜ばれる情報、身近なもの(人と人とのつながり)としての情報発信が必要です。わが町にしなり子育てネットでは、平成17年度「開拓的实践・研究」助成事業(大阪市民共済会)の助成を受け、多くの人に関わりつながることが出来る情報紙を発行する事となりました。これまでの乳幼児を中心としたものから小中高生の問題、子育てしやすいまちづくりを視野に入れたものにするため新たな編集委員を子育てネットの参加団体や一般から募集し、編集グループが2005年11月に立ち上がり、3月1日第1号6000部を発行しました。

2006年度は、西成区社会福祉協議会の善意銀行払出しを受け、2006年5月に新たな編集体制

を立ち上げました。メンバー（キューティハギーズ）は、子育て中のお母さんをはじめ、地域で活動している人たちなどで編集・取材やパパーズ座談会を企画するなど紙面充実に努め、2006年8月、はぎマンサイ第2号（6000部）を発行。8月6日区民まつりで配布するなど区民に広く知ってもらうことができました。

8月10日、子育てネットの役員会で、記事の中で不具合の指摘があり、訂正して刷り直しとなりました。指摘の内容は「パパーズ座談会」の記事中の「子どものしつけ」と「あいりん地区に対する記事の表現」の2カ所です。

一つは、子どものしつけのなかで「ちょっとぐらいたたいても…」の問題提起について体罰としつけの違いについてあいまいなままで出されてしまっていること。

もう一つは、西成のイメージの中で、差別意識を肯定助長する内容となっていないか、といったことが出されました。発言自体を問題としているのではなく、子育てネットとして発行するのであるからきちんととらえるべきとの意見が多く出された結果です。

編集委員がもっとも力を入れて取り組んだ紙面がこうした指摘を受けたこと、編集委員会を開かずして刷り直しをしたことで編集に携わったメンバーに複雑な思いを抱かせる結果となりました。10月3日、編集委員と子育てネット役員との会合を開き意見交換を行い、今後についても話し合いました。

第3号発行体制については2号発行後、はぎマンサイ編集委員会を「わが町にしなり子育てネット」から独立させ、地域住民を対象に幅広い編集ができるよう新たな編集体制を構築するべく、西成区子ども・子育てプラザを拠点に活動することとなりました。11月より編集委員を一般公募するなど新たな編集体制を作り、3月発行をめざし、地域に根ざした情報発信の紙面作りをすすめてきました。3号編集メンバーは3名と少数でお母さんたちの参加はありませんでした。そこで、編集委員公募とともに、わが町にしなり子育てネットと連携しながらネットワークを拡げ、住民の新たな参画の場をつくっていかうとの趣旨から記事提供・作成に参加してもらうことで編集をすすめてきました。こうした状況の中で3号は、発行が少し遅れ5月末発行となりました。

（2号発行の経過）

2006年度は西成区善意銀行助成（払出し）を受け、4月に編集体制を準備。10名の2号編集委員（キューティハギーズ）により企画、取材、紙面作成、配布の活動を実施しました。お母さんたちが中心なので実務作業についてはメールのやりとりなどで補完の作業を行い、発行することができました。1万字に及ぶパパーズ座談会のテープ起こし、記事作成も子育ての中で期日までに仕上げるなど大きな力を発揮。事務局も子育て中のお母さんが担い、編集委員会の準備、取材等の連絡調整など事務処理等もこなしました。編集委員にとっては大きな負担となりましたが、子育てネットの合い言葉「いつでもどこでもみんな子育て」の力を示すことができました。

- 5月24日 第1回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）
- 6月13日 第2回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）
- 6月21日 第3回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）

- 7月5日 パパーズ座談会の開催（西成区子ども・子育てプラザ）
- 7月12日 子どもによるまちたんけん（実施、取材）
- 7月19日 第4回編集委員会（原稿チェック、紙面構成）
7月下旬 担当で校正作業
- 8月5日 印刷・発行（6000部、わが町にしなり子育てネット発行）
- 8月6日 区民まつりで配布
- 8月10日 子育てネット役員会で記事に不具合の指摘があり、訂正の上刷り直し
- 8月30日 配布作業
- 9月8日 はぎマンサイ発行ご苦労さん会
- 9月19日 第5回編集委員会
- 10月3日 はぎマンサイ意見交換会（編集委員と子育てネット役員）

（3号発行の経過）

3号発行体制については、西成区子ども子育てプラザを拠点に「はぎマンサイだスリー編集部」として、わが町にしなり子育てネットと連携・協力して活動。

- 11月10日 3号第1回編集委員会(新体制の構築に向けて)(西成区子ども・子育てプラザ)
- 11月13日 編集委員募集
- 12月20日 第2回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）
- 2007年
- 1月17日 第3回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）
- 2月21日 第4回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）
取材・記事作成
- 3月16日 第5回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）
取材・記事作成・紙面構成
- 4月13日 第6回編集委員会（西成区子ども・子育てプラザ）
紙面構成・編集作業・取材
西成区社会福祉協議会善意銀行払出し受領（キューティハギーズとして受領）
- 5月 記事点検・校正
3号発行(6,000部、西成区子ども・子育てプラザ・キューティハギーズ発行)

（4号・5号の発行計画）

- 3号発行後、新たな編集体制（編集委員会）を作り活動予定
- 4号 2007年8月発行予定
- 5号 2008年3月発行予定

（はぎマンサイ編集委員会）

・びわこキャンプ

わが町にしなり子育てネットでは、昨年度（2005年度）親子キャンプを東吉野村で実施したが、2006年度は、西成児童館が長年取り組んできたびわこキャンプを引き継ぎ親子キャンプとして2006年8月16日～18日びわこ青柳浜セツルの家で実施。子ども23人（中学生7名）スタッフ15人（高校生4名）あわせて38名が参加。就学前の幼児～小中高年生～親と幅広い参加者となった。ボランティアグループ「ラポール」の若者たちの協力により実施することができた。報告集は子どもたちの感想文、写真を中心に発行し参加者に配布した。

わが町にしなり子育てネット

代 表 小 掠 昭

（元）西成児童館のびわ湖キャンプに参加しました。キャンプのねらいはなんといっても一番は自然体験です。都会の中では味わうことができない自然体験を精一杯満喫することです。私は毎年、ひと夏に4～5回子どもたちといっしょにキャンプにいきますが子どもたちの一番の人気は「びわこでの水泳」です。天気がいいときはほとんど水に入りっぱなし。普段とは眼の輝きが違います。そして「魚とり」や「虫取り」です。子どもたちは生き物が大好きです。水槽や虫かごに入った生き物でなく、自分の思いどおりにならない本物の生き物と接することができる貴重な体験の場がキャンプです。そこでは生き物も自由でいたいということ、一つの生き物には命が一つしかないことなどを教わります。捕まえた魚や虫を放してあげたり、逆に死なせてしまうこともあります。また、生きた魚を焼いて食べることもあります。捕った魚を食料にすることで自然の中での人間と生き物の関係を学びます。このように様々な命と真剣に向き合うことができる自然体験の場は人間形成の上でとても大事な時間と空間といえるでしょう。

びわ湖に毎年きていると自然の不思議さに魅入られます。同じ湖でも朝と昼と夕方とそして夜の姿はまるで違うのです。朝、波も無くゴミ一つ無い水面は100%の透明で思わず顔を洗いたくなるぐらいです。昼、キラキラに輝く太陽で暖められた湖水と川から流入する冷水とが入り交じる不思議な世界を体験できます。昼過ぎから夕方近くになると静かな湖面が急に荒々しく波立ちます。まるで子どもたちに「そろそろ上がれよ」といっているみたいです。一日の水遊びが終わった子どもたちが夕食までのひとときを湖畔で過ごしていると、波が収まった湖面が三色の絵の具で塗り分けられたような三層の姿を目にすることがあります。また、雨の後に見られるのははるかかなたの水平線をまたぐ壮大な虹のパノラマです。そして、夜、一日の疲れを癒すかのようなやさしい波が繰り返し繰り返し浜を洗います。子どもたちは人間に比べて自然の果てしない大きさと神秘さを心に刻みます。

このように子どもの五感を育むのは好奇心や探求心が最も旺盛な幼少期です。西成児童館が無くなっても、子どもたちは児童館で楽しく遊んだことやびわ湖での自然体験の思い出は永遠に心に残ることでしょう。そこでともに過ごした人たちとの思い出とともに。

児童館が廃止になってもみんなで実現したキャンプ

建物を持たない西成児童館

出水 敦 美

2006年8月16日～18日、びわ湖キャンプに行ってきました。今年で8回目、事故もなく無事終了しました。参加者は、子ども23人（中学生7名）、スタッフ15人（高校生4名）、あわせて38名。参加してくれた子どもたち、スタッフのみなさんご苦労様でした。

児童館が廃止になって...

今年1月に市長マニフェストが出され、市立児童館3月末廃止案が出されました。これに対し、多くの人たちの廃止反対、存続の運動により、3月議会で継続審議となりこれまでの利用者も引き続き利用できることとなりました。

5月の市議会で市立児童館の6月廃止が決まりましたが、議会では、野党議員の質問に答えて担当課長が

「.....それと事業の中身でございますが、先ほど説明させていただきましたけれども、これまでの取組み、地域から援助を得ましているんな行事も開催しております。そういったことも引き続きやってまいりたいというふうに考えておりますので、内容的には、それほど変わらないんじゃないかというふうに考えております。以上でございます。」

「従来、児童館でやっておりました行事とか、いろんな形ですでに利用されておられる児童のみなさんがそのまま、名前は児童館が外れて保育所というエリアになりますけれども、同様の活動ができるというふうには考えております。以上でございます。」

言い切ったにもかかわらず、ボランティアのY君たちが何回も大阪市と話し合いましたが、キャンプ等の事業については引き継がない、実施しないとの方針を変えず。

わが町にしなり子育てネット主催でキャンプ...

頭をかかえていると、わが町にしなり子育てネットが主催団体として引き受けようとの小掠代表の決断、キャンプにも参加していただけるとのこと。

ようやく実現の見通しが出てきました。

ラポールメンバーだけでなく、昨夏子育てネットの東吉野村山の家キャンプに参加したお母さんたちや地域の西天下茶屋ボランティアグループも「いっしょにやりましょう」の声。募集も手だてをなくしていたら、これまでキャンプに参加した子どもたちが友だちを誘ってきてくれました。

松通子育て支援センター（旧西成児童館）の職員さんも受付を引き受けてくれました。キャンプのしおり作りなど印刷、物品借用等には西成青少年会館や西成区子ども・子育てプラザ（トモノス西成）、今池こどもの家も協力してくれました。

みんなで実現したキャンプです。

2006年夏のびわ湖キャンプは、私にとっても思い出深い楽しいキャンプとなりました。参加していただいた38名のみなさんをはじめ応援していただいた人たちに感謝！

「ありがとうございました」

思い出がいっぱいのびわ湖セツルの家は、開発の波の中で2008年度の開設が困難な状況にあると伺いました。今年の夏も、とっても古びているけど、あたたかいセツルの家でのキャンプを実現させたいと願っています。

最後になりましたが、この「びわこキャンプの思い出」の発行がおくれたことをおわびいたします。編集から印刷製本まで引き受けていただいた工藤正和さんのおかげで出すことができました。お礼を申し上げます。



. 2006 年度会計報告

わが町にしなり子育てネット

2006 年度 会 計 決 算 書

収 入 の 部

項 目	予 算 額	決算額	備 考
事 業 助 成 金	300,000	300,000	
西成区社会福祉協議会	100,000	100,000	
西成区善意銀行	100,000	100,000	
大阪府善意の箱事業委員会西成支部	100,000	100,000	
特 別 助 成 金	150,000	0	
元気まつり	150,000	0	
家庭教育支援総合推進事業	0	0	
開拓的实践・研究助成金	0	0	
子ども夢基金	0	0	
大阪府助成基金プリムラ賞	0	250,000	
寄 付 金	30,000	89,515	
事 業 収 入	100,000	45,800	
雑 収 入	5,675	1,364	
前 年 度 繰 越 金	414,325	414,325	
合 計	1,000,000	1,101,004	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
事 務 費	290,000	148,062	
消 耗 品 費	90,000	59,579	
通 信 運 搬 費	150,000	48,163	
事 務 局 費	50,000	40,320	
広 報 費	170,000	113,680	
ミニコミ紙ハギッズ	120,000	110,280	
ホ ー ム ペ ー ジ	50,000	3,400	
事 業 費	140,000	210,219	
講 座 諸 経 費	30,000	3,909	
プ ー ル 交 流 会	10,000	1,270	
フ リ ー マ ー ケ ッ ト	30,000	29,873	
子 育 て の 集 い	30,000	51,836	
地 域 活 動 助 成 金	40,000	123,331	
特 別 事 業 費	150,000	19,395	
元 気 ま つ り	150,000	19,395	
家庭教育支援総合推進事業	0	0	
開拓的实践・研究助成金	0	0	
子ども夢基金	0	0	
雑 費	90,000	0	
繰 越 金	160,000	609,648	
合 計	1,000,000	1,101,004	

会 計 監 査 報 告

平成 18 年度、わが町にしなり子育てネット収支決算に関し、会計帳簿並びに事務執行に関する諸帳簿について監査を行いました結果、すべて適正に処理されていると認めましたので、ここに報告いたします。

平成 19 年 5 月 18 日

わが町にしなり子育てネット

監事 大阪市立松通東保育所
所長 藤 田 弘 美

・ 2007 年度活動方針(案)

(1) 「児童館」「青少年会館」の条例があいついで廃止される中、普通財産となった「児童館」「青少年会館」を子ども達の居場所、活動の拠点として積極的に活用できるよう取り組みを進めます。また、大阪市に対して、条例を廃止してどのような子育て支援を進めようとしているのかを区民、とりわけ子ども達やその保護者にていねいにわかりやすく説明してもらえよう働きかけます。加えて、みんなと相談して關市長に子育てネットとして具体的な子育て支援の取り組みの充実を求める要望書を提出できるように取り組みます。

(2) 「西成区地域福祉アクションプラン」の具体化など西成区社会福祉協議会との連携を強化します。「マイツリー・ペアレンツ・プログラム」などを実施するNPO法人「子育て運動・えん」と連携し、子育て・子育て支援の取り組みを進めます。文部科学省事業を活用して実施した「学習・相談事業」を深めていくために、虐待防止などテーマを設定し、勉強をしたいメンバーを登録し、課題や知識を持ち寄り、解決へ向けた議論を深める多様な「子育て実践コミュニティ」づくりに協力していきます。

(3) わが町にしなり子育てネットの幅広いネットワークを活用し、つどいの広場「わいわい」が取り組む「父親の育児・子育てを考える場」づくりに協力していきます。

(4) これまで活動の中心にしてきた「子育てのつどい」については今年度も開催します。青少年会館で行ってきた「フリーマーケット」については会場の問題はありますが開催したいと考えています。また、今年第4回を迎える「子ども元気まつり」については、環境問題を考えるという意味で、おもちゃリサイクル運動「かえっこバザール」を西成区地域福祉アクションプラン推進委員会の協賛を得て、まつりの中心にします。

(5) ボランティアグループからの声かけで「よみうり子育て応援団」に応募の予定になっていますが、その他、国や市町村、企業などが応援してくれる制度があればエントリーをしたいと考えています。

(わが町にしなり子育てネット副代表 谷川 雅彦)

1. 各部門活動計画

講習講座部会

昨年同様「親子で楽しくあそぼう会」を年4回実施します。

講座を通して子育ての楽しさや保護者同士の交流を提供していきたいと思います。

《親子で楽しくあそぼう会》

	日 程	内 容	担 当
第1回	6月8日(金)	親子で楽しいふれあい遊び	公立幼稚園・私立保育園

第2回	7月4日(水)	簡単な手作りおもちゃ	公立保育所
第3回	10月17日(水)	子どもが喜ぶ手作りおやつ	保健センター(保健士・栄養士)
第4回	10月26日(金)	子育てに絵本を 「読み聞かせのすすめ」	西成図書館

- ・時 間 各回 午前10時～11時30分(若干変動あり)
- ・場 所 第1・2回目 西成子ども・子育てプラザ
第3回目 西成保健福祉センター(区役所2階)
第4回目 西成区民ホール
- ・対 象 乳幼児とその保護者 30組
- ・参 加 費 無料(3回目のみ実費徴収)
- ・申し込み先 わが町にしなり子育てネット事務局
西成区子ども・子育てプラザ(06-6658-4528)

《地域交流事業の一本化》

- ・担 当 公立保育所 5・6・7・8月分
私立保育園 9・10・11・12月分
公立幼稚園 1・2・3月分

広報部会

・ハギッズ

今後は、新たにメンバーも一人増え、井戸端会議をますます充実させ、読者参加型に向けていきたいと思えます。

ミニ会議の際に皆で集まり、話し合った内容を紙面にしたいと思っています。

(さくら組<ハギッズ編集グループ> 鈴木・中村・相原・中島)

・ホームページ編集委員会

1.平成19年度活動目標

ホームページを通じて子育て情報や身近な情報を公開することにより、家にいても子育て情報そして地域の情報を手に入れることができます。イベントの情報を見て催しに参加したり、保育ボランティアに子どもさんを預けて子育て講座に参加して下さる方もいます。たくさんの人と出会い、ふれあいながら親子、共に成長し楽しく子育てができることを願い編集活動を続けていきます。いつの時代も子どもを育てることは悩みがついてくるものだと思います。いろいろな子育ての情報をホームページを通じて知ってもらうことで、子育てに役立ててほしいと思います。子どもたちの健やかな成長を願ってホームページを作成し、運営していきます。

また、本年度は“かぶと虫大作戦”を計画中です。秋田県からやってくるかぶと虫を育てながらブログで公開します。飼育日記にとどまらず、かぶと虫にかかわる人と人とのつながりが広がっていくブログにしたいと意欲的です。新しい企画に多くの方が関心を持っていただくとうれしいです。

2.実施日程・内容・その他

実施予定	計画内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・活動報告と活動計画
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・ハギッズホームページ版作成と公開 ・かぶと虫大作戦
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・かぶと虫大作戦
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・ハギッズホームページ版作成と公開 ・かぶと虫大作戦
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・かぶと虫大作戦
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・ハギッズホームページ版作成と公開 ・かぶと虫大作戦
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 かぶと虫大作戦
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・ハギッズホームページ版作成と公開
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・ハギッズホームページ版作成と公開
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理

3月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議・講習会 ・サイトの運営と管理 ・ハギッズホームページ版作成と公開
----	--

3. 予算について

- ・ 善意銀行からの助成金の範囲で、行える活動をしています。

(たんぼぼ<ホームページ編集部>)

子育てサークル部会

- ・ 昨年立ち上がった西成子育て支援施設連絡会を中心に、子育てネットに加盟するサークルや在宅親子に対し、子育て支援に取り組みます。
- ・ 子育て関係支援施設の少ない南エリアでの「サロン0・1・2(玉出西公園)」を引き続き実施し、親同士の出会いの場、親子のあそびや子育て情報の場、相談の場として参加してもらえよう取り組んでいきます。
- ・ 高齢者、在宅親子を中心とした西成大好きふれあい運動会を10月18日(木)に開催します。

児童虐待防止部会

2007年度実践予定

現在、大阪市との2年目の事業化にむけた協議が進んでいます。昨年来、大阪市の事業に大きな関心を寄せていた大阪府子ども家庭センターが、大阪市中央児童相談所と連絡を取り合い、2007年度新たな親支援施策の展開に積極的な姿勢を示されています。

締結と同時並行で、「わが町にしなり子育てネット」でも運営会議をスタートさせていく予定です。

例年同様、進行役(ファシリテーター) - 保育チームで構成される運営会議や、虐待する親支援の視点・『MY TREEペアレンツ・プログラム』についての勉強会を持ちます。直接運営にたずさわらなくとも、「わが町にしなり子育てネット」によって成長し、発展してきたこの親支援領域に関心のある方や、諸団体での研修等計画されている方は、小掠代表またはNPOえん伊藤までご一報ください。

(文責：NPOえん理事 伊藤悠子)

特別部会

・第4回子ども元気まつり

2007年5月27日(日)実施予定

場所：南津守さくら公園

- ・ かえっこバザールを中心に開催します。

・第6回フリーマーケット

2007年10月28日(日)実施予定

場所：未定

・ボランティアのお母さん方が中心になって、つくりあげるフリーマーケットです。

・第9回子育ての集い

2008年3月6日(木)実施予定

場所：西成区民センター

・ネットの中心的な活動であり「いつでもどこでもみんなで子育て」を合言葉に開催します。

. 2007 年度会計予算案

わが町にしなり子育てネット

2007 年度 会 計 予 算 (案)

収 入 の 部

項 目	予 算 額	前年度予算	備 考
事業助成金	300,000	300,000	
西成区社会福祉協議会	100,000	100,000	
西成区善意銀行	100,000	100,000	
大阪府善意の箱事業委員会西成支部	100,000	100,000	
特別助成金	100,000	150,000	
元気まつり事業助成	100,000	150,000	
寄付金	30,000	30,000	
事業収入	60,000	100,000	
雑収入	352	5,675	
前年度繰越金	609,648	414,325	
合 計	1,100,000	1,000,000	

支出の部(予算額)

項 目	予 算 額	前年度予算	備 考
事 務 費	290,000	290,000	
消 耗 品 費	120,000	90,000	
通 信 運 搬 費	120,000	150,000	
事 務 局 費	50,000	50,000	
広 報 費	170,000	170,000	
ミニコミ紙ハギッズ	120,000	120,000	
ホ ー ム ペ ー ジ	50,000	50,000	
事 業 費	240,000	140,000	
講 座 諸 経 費	30,000	30,000	
プ ー ル 交 流 会	0	10,000	
フ リ ー マ ー ケ ッ ト	60,000	30,000	
子 育 て の 集 い	50,000	30,000	
地 域 活 動 助 成 金	40,000	40,000	
特 別 事 業 費	100,000	150,000	
元 気 ま つ り	100,000	150,000	
雑 費	100,000	90,000	
繰 越 金	200,000	160,000	
合 計	1,100,000	1,000,000	

・わが町にしなり子育てネット会則

名 称

1. この会は、わが町にしなり子育てネットという。

事 務 所

2. この会の事務所は、事務局を担当する施設内におく。

目 的

3. この会は、次のことを目的とする。
 - (1) 子育てにかかわる多くの人たちが集まり、「子どもの権利、子どもの育つ力、子どもを育む力、子どもを支える力を支援する活動」をみんなで進めていくために子育てネットワークを拡げる。
 - (2) 子育てにかかわる人たちの連携により、「子どもたちがすくすく育つ町、にしなり」をめざし、子育てにやさしく、子どもの育ちを支える地域づくりを進める。

活 動

4. この会はその目的を達成するため次の活動を行う。
 - (1) 就学前の乳幼児の子育て家庭支援の活動
 - (2) 18歳未満児童の子育ち支援の活動
 - (3) 参加団体・機関等の情報交換、連携活動
 - (4) 子育て支援の情報収集と公開
 - (5) 子育てサークルの育成と支援
 - (6) 児童虐待防止のための活動
 - (7) 子育て講座等の開催
 - (8) 子育ての集いの開催
 - (9) 子育てに関わるニーズの把握と問題解決

会 員

5. この会の会員は、西成区内等の子育てに関わる関係機関・施設・団体・個人とする。

賛助会員

6. この会の目的に賛同する団体・会社等を賛助会員とする。

役 員

7. この会に次の役員をおく。
 - (1) 代 表 1名 副代表 若干名 事務局長 1名 会計 1名
幹 事 若干名 監 事 若干名
 - (2) 幹事は全体会で選出する。
 - (3) 代表、副代表、事務局長、会計は幹事より互選する。
 - (4) 監事は全体会で選出する。
 - (5) 代表は、この会を代表し、その会務を統括する。

- (6)副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるときはその職務を代行する。
- (7)事務局長は、代表の指示を受け、活動及び事務全般を処理する。
- (8)会計は、代表の指示を受け、会計事務を処理する。
- (9)幹事は、会の日常業務の運営にあたる。
- (10)役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

役員会

8. この会の活動の決定は、役員をもって組織する役員会によって行う。ただし軽易な活動は代表または、専門部会が専決し、これを役員会に報告する。

総会・全体会

9. (1)この会の活動計画、活動報告、予算、決算、会則の変更、役員の選任については総会で行う。
- (2)総会は年1回以上開催する。ただし、代表が必要と認めたときは開催しなければならない。
- (3)総会で決定された計画の具体化など、会の活動を円滑に進めるために全体会を開催する。
- (4)全体会はすべての会員で構成し、3ヶ月に1回程度開催する。

会計

10. (1)この会の経費は助成金その他の収入をもってあてる。
- (2)この会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日とする。

会議

11. この会の活動を推進するため、次の会議・委員会を置くことができる。
- (1)ボランティア活動の企画・推進のための委員会
 - (2)公的関係機関との連携・協力のための委員会
 - (3)各種活動を推進するための、専門別委員会
 - (4)代表の指示の下で活動・事務等を処理調整する事務局会議

会則

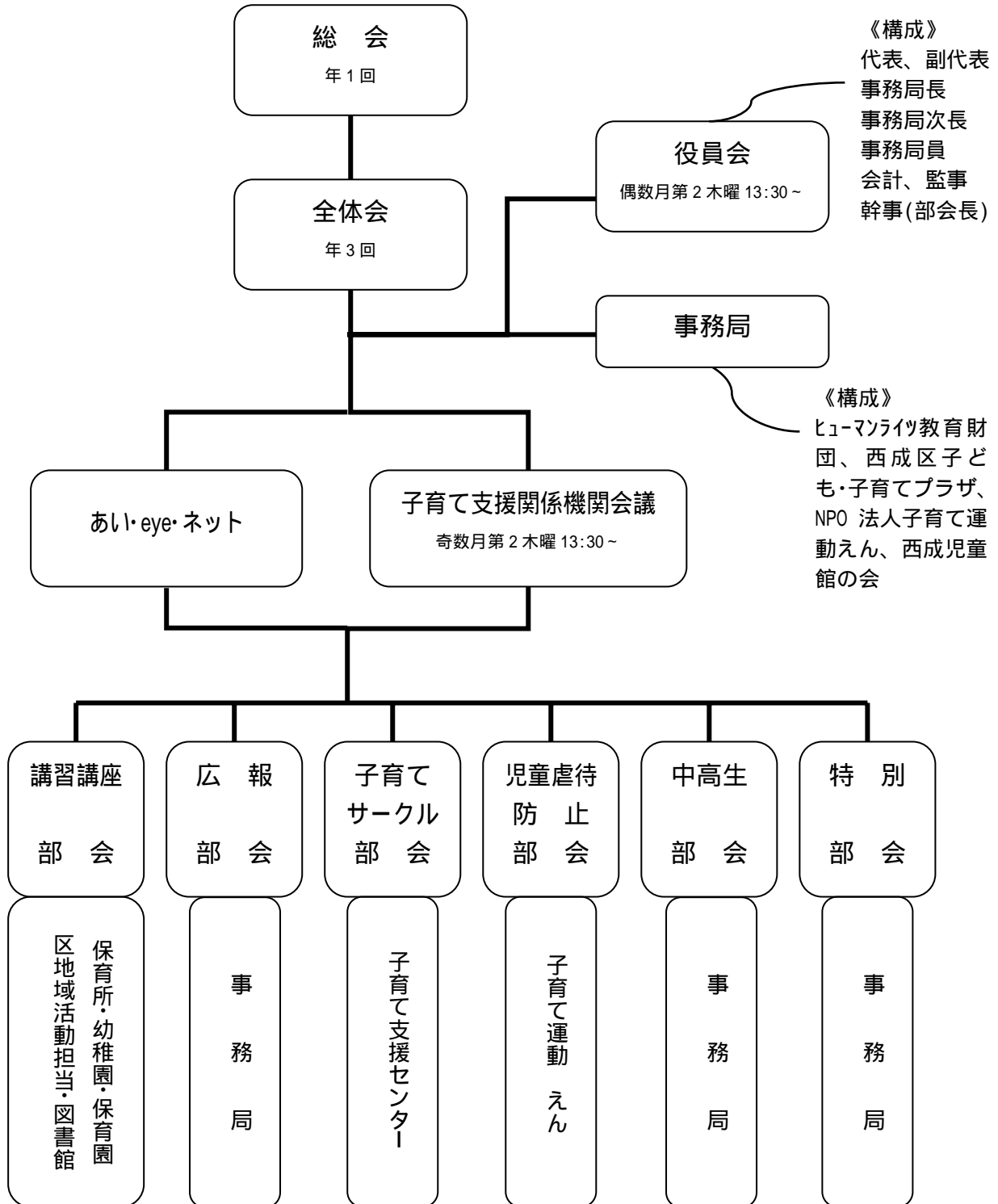
12. この会則を変更しようとするときは、全体会でこれを決める。

(付則)

- (1)この会は、2000年5月24日発足する。
- (2)2000年9月22日に一部会則を変更する。
- (3)2001年5月29日に一部会則を変更する。
- (4)2002年5月16日に一部会則を変更する。
- (5)2005年5月12日に一部会則を変更する。
- (6)2006年6月1日に一部会則を変更する。

組織

組織の改編について(案)



2007年度わが町にしなり子育てネット登録団体一覧

2007年6月1日現在

ID	団体名	役員	代表者(施設長)	担当者	電話	Fax	郵便番号	住所2	住所3	住所4
1	子育てサークルいちごクラブ		水野 文江		6658-9155	6658-9155	557-0034	西成区	松3-2-36	松通子育て支援センター内
2	子育てサークル ちびっこクラブ		前田 直子		6658-9155	6658-9155	557-0034	西成区	松3-2-36	松通子育て支援センター内
3	今池こどもの家 わんぱくクラブ		小掠 昭	中谷 美紀	6632-7020	6632-7020	557-0003	西成区	天下茶屋北1	今池こどもの家内
4	育児サークル めばえ塾		前田 晴枝		6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
5	あれん会		戸田 方美		6647-8074	6647-8074	557-0002	西成区	太子1-13-15	つどいの広場・わいわい内
6	西成地区保育所保護者会連絡会		川村 文治		090-8939-7112	-	557-0022	西成区	中開3-1-24	人権文化センター内
7	さくら組 ハギッズ編集グループ		鈴木 眞奈美	相原 祐子	6656-0067	6656-0154	557-0034	西成区	松3-1-16	ボランティアビューロー内
8	ラポール		佐波 圭介	上畑 圭史	6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
9	たんぼぼ ホームページ編集部		湯川 二三四		6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
10	すみれ 保育ボランティアグループ		金田 久子		6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
11	にしなり子育て情報館		西井 千織		6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
12	西天下茶屋ボランティアグループ		森本 秀雄		6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
13	キューティー・ハギーズ		松村 若子		6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
14	日本ボーイスカウト大阪第44団		寒川 優	市橋 一越・桑井 雪枝	6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
15	日本ボーイスカウト大阪第106団		田村 昭	宮城 康子	6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
16	はーと・クラブ ボランティア個人登録窓口				6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
17	おもちゃ図書館バンダ		森嵐 末子		6656-0080	6656-0083	557-0041	西成区	岸里1-5-20	
18	西成地区更生保護女性会		武田 紹子	辻 美弥・松山・小林	6659-9743	6659-9999	557-0041	西成区	岸里 1-5-20	
19	西成子育て支援センター		北川 幾子	富田 尚子	6562-6308	6562-6308	557-0032	西成区	旭2-7-17	松之宮保育所内
20	聖化保育園子育て支援センター		畑野 順一	別所 美子	6659-1700	4398-5330	557-0054	西成区	千本中 2-7-9	聖化保育園内
21	ファミリーサポートセンター西成		岡田 信治	亀岡 栄子	6658-4529	6658-4529	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
22	子ども家庭支援員事業		課長 尾崎 雅子	荘保・関口・川辺	6659-9857	6659-2245	557-0041	西成区	岸里1-5-20	
23	トライ! あんぐる		安田 幸雄	西川 喜美子	6568-0990	6568-0114	557-0024	西成区	出城2-4-12	
24	区保健福祉センター 地域保健福祉課(保健福祉)		尾崎 雅子	原田 信寿	6659-9857	6659-9468	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区保健福祉センター地域保健福祉課
25	区保健福祉センター 地域保健福祉課子育て支援室		中島 章憲	乾 妃美子	6659-9913	6659-9468	557-0041	西成区	岸里1-5-20	
26	区保健福祉センター 地域保健福祉課(地域活動)		松本 恵子	益田 万利子	6659-9968	6659-9468	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区保健福祉センター地域保健福祉課
27	大阪市立西成人権文化センター		水田 和男	浅野 悠輝	6561-0007	6561-9154	557-0022	西成区	中開3-1-24	
28	大阪市立西成障害者会館		孫 貴司	岡田 光司	6562-5800	6562-6677	557-0034	西成区	長橋3-2-27	
29	大阪市中央児童相談所		村江 昇	吉村 明夫・河原田 啓史	6797-6520	6797-3494	557-0000	平野区	喜連西6-2-55	
30	西成区ボランティアビューロー		乾 繁夫	青水 裕子	6656-0067	6656-0668	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区合同庁舎8階
31	大阪市立西成図書館		村岡 和彦		6659-2346	6659-8599	557-0041	西成区	岸里1-1-50	
32	(財) ヒューマンライツ教育財団	事務局長	寺本 良弘		6562-7781	6563-1159	557-0025	西成区	長橋3-7-28	
	(財) ヒューマンライツ教育財団	副代表	谷川 雅彦		6568-1621	6568-0229	557-0025	西成区	長橋3-7-28	
33	西成人権協会		本村 信一	寺本 良弘	6561-0007	6561-9154	557-0022	西成区	中開3-1-24	人権文化センター内
34	弘道会浪速生野病院		魚井 孝悦	井田 艶子・松浦 洋栄	6561-1021	6567-2521代	556-0025	浪速区	浪速東2-13-19	
35	西成児童館の会		出水 敦美	川辺 康子	6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	子ども・子育てプラザ内
36	松通子育て支援センター		鹿島 照子	西村 美保	6658-9155	6658-9155	557-0035	西成区	松3-2-36	
37	西成区子ども・子育てプラザ	事務局次長 事務局・会計	岡田 信治	植田 耕司・川辺 康子	6658-4528	6658-4528	557-0033	西成区	梅南1-2-6	

2007年度わが町にしなり子育てネット登録団体一覧

2007年6月1日現在

ID	団体名	役員	代表者(施設長)	担当者	電話	Fax	郵便番号	住所2	住所3	住所4
38	児童館 今池こどもの家		小掠 昭	澤村 稔・中谷 美紀	6632-7020	6632-7020	557-0003	西成区	天下茶屋北1-4-6	
39	こどもの里		荘保 共子	山口・前野・杉村	6645-7778	6645-7778	557-0004	西成区	萩之茶屋2-3-24	
40	たちばな学童保育所		野竹 知子	加藤 登代子	6651-7533	6651-7533	557-0051	西成区	橋3-10-6	
41	第1青空学童保育所		小西 優里	亀井 杏美	6658-1056	6658-1056	557-0055	西成区	千本南2-2-3-1F	
42	青空第2学童保育所		鮎子多 五月	古谷 壽子	6661-9265	6658-1056	557-0055	西成区	千本南2-9-19	
43	岸里学童保育所		前田 美佐	松本 直央	6658-7264	6658-7264	557-0041	西成区	岸里3-3-2-103	
44	大阪市立玉出幼稚園		篠原 いくよ		6661-4446	6661-6769	557-0044	西成区	玉出中2-13-29	
45	大阪市立津守幼稚園		河野 かづ彥	堂前 厚代	6661-1900	6799-1120	557-0062	西成区	津守3-1-66	
46	大阪市立天下茶屋幼稚園		竹内 啓子		6661-5649	6661-5964	557-0012	西成区	聖天下1-10-34	
47	大阪市立千本保育所		高田 幸代	武藤 恵子	6651-0073	6651-0073	557-0055	西成区	千本南2-11-20	
48	大阪市立橋保育所		川原 啓子		6661-5813	6661-5813	557-0051	西成区	橋3-1-19	
49	大阪市立天下茶屋保育所		有南 能理子		6653-6010	6653-6010	557-0011	西成区	天下茶屋東2-1-12	
50	大阪市立長橋第1保育所		林 幸子		6561-3450	6561-0342	557-0023	西成区	南開2-2-24	
51	大阪市立長橋第2保育所		山本 清美		6562-0016	6562-0082	557-0023	西成区	南開1-7-7	
52	大阪市立長橋第5保育所		杉本 みち子		6649-7216	6649-7203	557-0025	西成区	長橋1-6-28	
53	大阪市立北津守保育所		酒井 いく子		6568-4789	6568-4789	557-0061	西成区	北津守3-5-32	
54	大阪市立松之宮保育所		今津 香	中 昌美	6567-3460	6567-3470	557-0032	西成区	旭2-7-17	
55	大阪市立南津守保育所		炭野 真喜子		6658-4818	6658-4818	557-0063	西成区	南津守2-4-7-101	
56	大阪市立松通保育所		鹿島 照子		6659-2900	6659-2900	557-0034	西成区	松3-2-32	
57	大阪市立松通東保育所		藤田 弘美	山田 明美	6659-4083	6659-4083	557-0034	西成区	松1-5-23	
58	大阪市立山王保育所		李 月乃		6633-7966	6633-7966	557-0001	西成区	山王1-6-10	
59	聖化保育園		畑野 順一	別所 美子	6659-1700	6653-0701	557-0054	西成区	千本中2-7-9	
60	花園和敬学園		山本 教道	山本 篤子	6641-0845	6644-1118	557-0032	西成区	旭1-10-1	
61	玉出西保育園		谷口 昌子	山本 千津子	6658-8600	6658-8600	557-0045	西成区	玉出西2-20-70	
62	玉出東保育園		辻 清美		6653-6700	6653-3642	557-0043	西成区	玉出東1-6-6	
63	暁光会ひかり学園		西山 善樹	本田 妙子	6562-0095	6562-0141	557-0061	西成区	北津守4-4-35	
64	どんぐり保育園		奥田 直美		6659-0091	6659-0091	557-0055	西成区	千本南2-9-12	
65	わかくさ保育園	代表	小掠 昭	加治屋 素子	6633-2965	6633-2970	557-0004	西成区	萩之茶屋2-9-2	
66	(社福法)石井愛染園 つどいの広場・わいわい		小掠 昭	関口 淑枝	6647-8074	6647-8074	557-0002	西成区	太子1-13-15	(旧 市立東田保育所内)
67	(NPO)子育て運動えん		小掠 昭	伊藤 悠子・関口 淑枝	6633-2965	6633-2970	557-0004	西成区	萩之茶屋2-9-2	わかくさ保育園内
後援	西成区社会福祉協議会		岡本 徹	井上 サエ子	6656-0080	6656-0083	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区合同庁舎8階
後援	西成区児童虐待防止・子育て支援連絡会議		中島 章憲	児童虐待担当 原田 信寿	6659-9857	6659-9468	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区役所内
後援	(西成区要保護児童対策地域協議会)子育て支援室		中島 章憲	子ども相談担当 尾崎 早苗	6659-9857	6659-9468	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区役所内
後援	西成区主任児童委員連絡会		今村 厚雄	事務局 中島義泰・矢吹正浩	6659-9882	6659-9468	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区役所内
後援	西成区社会福祉施設連絡会		小掠 昭	岡本 徹	6656-0080	6656-0083	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区合同庁舎8階
連携	西成区役所 人権サロン・ネットワーク		菅谷 和史	櫻田 順司	6659-9743	6659-2246	557-0041	西成区	岸里1-5-20	西成区役所内
	あい・EYE・ネット		たんぼぼ(ホームページ編集部)		6658-9155	6658-9155	557-0034	西成区	松3-2-36	松通子育て支援センター内

～いつでもどこでもみんなで子育て～



加盟団体一覧表

(子育てについて悩んでいませんか?)

わが町にしなり子育てネットは「いつでもどこでもみんなで子育て」を合言葉に活動しています。さまざまな活動を通して、皆様のサポートをしていきたいと考えています。お気軽にご相談ください。

ボランティアグループ

団体名	電話
さくら組(ハギズ編集グループ)	6656-0067
たんぼぼ(ホームページ編集部)	6658-4528
すみれ(保育ボランティアグループ)	6658-4528
西成児童館の会	6658-4528
ラポール	6658-4528
西天下茶屋ボランティアグループ	6658-4528
にしなり子育て情報館	6658-4528
キューティーハギーズ	6658-4528
はーとクラブ	6658-4528
おもちゃ図書館パンダ	6656-0067
西成地区更生保護女性会	6659-9743

子育てサークルなど

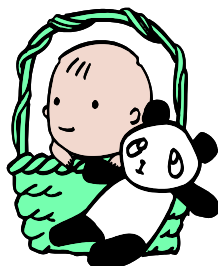
団体名	電話
ちびっこクラブ	6658-9155
いちごクラブ	6658-9155
わんぱくクラブ	6632-7020
めばえ塾	6658-4528
あれん会	aren_kai@yahoo.co.jp
西成地区保育所保護者会連絡会	6561-0007

大阪市地域子育て支援事業

団体名	電話
西成子育て支援センター	6562-6308
松通子育て支援センター	6658-9155
聖化保育園子育て支援センター	6659-1700
つどいの広場 わいわい	6647-8074
ファミリーサポートセンター西成	6658-4529
子ども家庭支援員事業	6659-9857
トライ!あぐる	6568-0990

官公署など

団体名	電話
区保健福祉センター子育て支援室	6659-9857
西成区家庭児童相談室	6659-9913
区保健福祉センター地域活動	6659-9968
西成人権文化センター	6561-0007
大阪市西成障害者会館	6562-5800
大阪市中央児童相談所	6797-6520
西成区ボランティアビューロー	6656-0067
西成図書館	6659-2346



保育所・保育園

団体名	電話
千本保育所	6651-0073
橘保育所	6661-5813
天下茶屋保育所	6653-6010
長橋第1保育所	6561-3450
長橋第2保育所	6562-0016
長橋第5保育所	6649-7216
北津守保育所	6568-4789
松之宮保育所	6567-3460
南津守保育所	6658-4818
松通保育所	6659-2900
松通東保育所	6659-4083
山王保育所	6633-7966
聖化保育園	6659-1700
花園和敬学園	6641-0845
玉出西保育園	6658-8600
玉出東保育園	6653-6700
暁光会ひかり学園	6562-0095
どんぐり保育園	6659-0091
わかくさ保育園	6633-2965

幼稚園

団体名	電話
玉出幼稚園	6661-4446
津守幼稚園	6661-1900
天下茶屋幼稚園	6661-5641

学童保育所

団体名	電話
たちばな学童保育所	6651-7533
第一青空学童保育所	6658-1056
青空第二学童保育所	6661-9265
岸里学童保育所	6658-7264

他関係団体・施設

団体名	電話
西成区子ども・子育てプラザ	6658-4528
児童館 今池こどもの家	6632-7020
こどもの里	6645-7778
西成青少年会館施設	6568-7300
ヒューマンライツ教育財団	6561-8800
西成人権協会	6561-0006
弘道会浪速生野病院	6561-1021
日本ボーイスカウト大阪 第44団	6658-4528
日本ボーイスカウト大阪 第106団	6658-4528

わが町にしなり子育てネット

(事務所)西成区子ども・子育てプラザ

TEL/FAX 6658-4528

(ホームページ) <http://haginet.2.pro.tok2.com/>

2006年度活動記録

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
各会議												
総会					1(木)	総会/西成青少年会館						
全体会												
役員会									10日(木)	役員会/ネットルーム		
事務局会議												
子育て支援関係機関会議							13日(木)	支援者会議/ネットルーム			14日(木)	支援者会議/ネットルーム
あい・eye・ネット												
講習講座部会												
親子で楽しく遊ぼう会					9日(金)	親子でふれあい遊び/子ども・子育てプラザ	12日(木)	簡単手作りおもちゃ/子ども・子育てプラザ				
〃												
広報部会												
ハギッズ	14日	第34回 編集委員会	1日	ハギッズ第33号発行	9日	第35回 編集委員会	1日	ハギッズ第34号発行	4日	第36回 編集委員会	1日	ハギッズ第35号発行
ホームページ編集委員会	14日	第1回ホームページ編集委員会/西成児童館	12日	第2回ホームページ編集委員会/西成児童館	2日	第3回ホームページ編集委員会/西成児童館	7日	第4回ホームページ編集委員会/松通子育て支援センター			11日	第5回ホームページ編集委員会/松通子育て支援センター
子育てサークル部会												
プール交流会					16日	プール交流会実行委員会/西成児童館	19日	プール交流会実行委員会/松通子育て支援センター	2日	プール交流会反省会/松通子育て支援センター		
〃							27日(木)	プール交流会/西成青少年会館プール/10時30分~11時30分				
サロン0・1・2		第3火曜日玉出西公園		第3火曜日玉出西公園		第3火曜日玉出西公園		第3火曜日玉出西公園		第3火曜日玉出西公園		第3火曜日玉出西公園
西成子育て支援施設連絡会議												
西成大好きふれあい運動会											20日	西成大好きふれあい運動会実行委員会・松通子育て支援センター
〃												
児童虐待防止部会												
MY TREE ペアレンツ・プログラム									29日(火)	グループ準備会		毎週火曜日開催 MY TREEペアレンツ・プログラム
特別部会												
第3回子ども元気まつり					4日(日)	第3回子ども元気まつり/松通公園						
〃					14日	子ども元気まつり反省会/西成児童館						
第5回フリーマーケット											5日	第1回事務局会議/子ども・子育てプラザ
〃												
〃												
〃												
〃												
第8回子育ての集い												
〃												
その他												
第1回西成大好きドッジボール大会												
はぎマンサイ		24日	第1回編集委員会/子ども・子育てプラザ	13日	第2回編集委員会/子ども・子育てプラザ	5日12日	ハバース座談会/子ども・子育てプラザ 子どもによるまちたんけん	5日6日	印刷・発行/6000部 区民まつりで配布	8日	はぎマンサイ発行ご苦労さん会	
〃				21日	第3回編集委員会/子ども・子育てプラザ	19日	第4回編集委員会/子ども・子育てプラザ	10日30日	ネット役員会で不都合あり訂正 配布作業	19日	第5回編集委員会/子ども・子育てプラザ	
びわこキャンプ						8月7日	キャンプ説明会/松通子育て支援センター	16日~18日	びわこキャンプ/びわこ青柳浜セツルの家			

いつでもどこでもみんなで子育て

わが町にしなり子育てネット

